

SDE-3000 EVH

DUAL DIGITAL DELAY

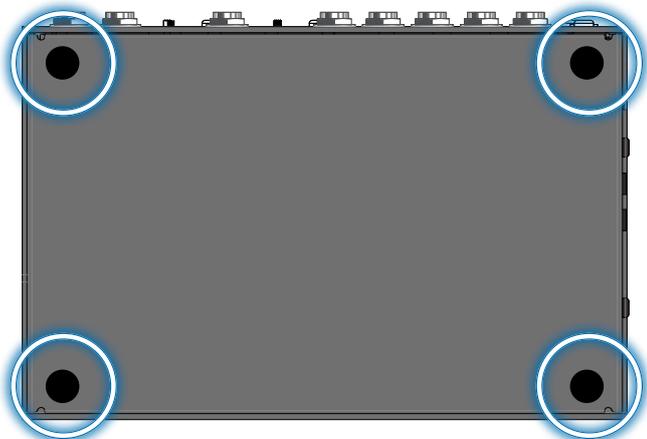
リファレンス・マニュアル



準備する

ゴム足の取り付け

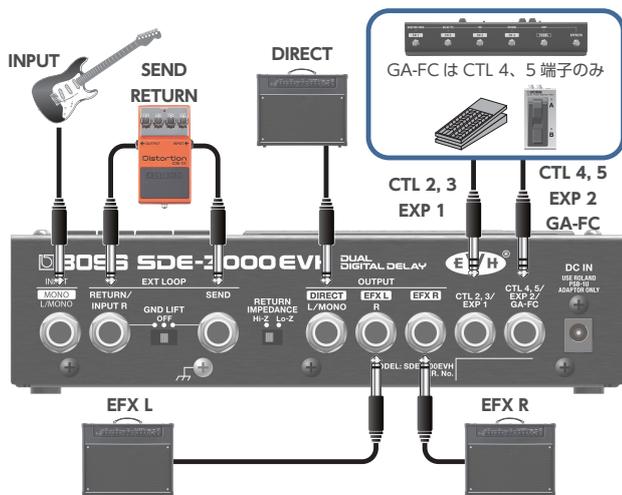
ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。
ゴム足は図の位置に貼り付けます。



- ※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷付ける恐れがあります。
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

機器の接続

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



SDE-3000EVHは他にもさまざまな接続のしかたがあります。
詳しくは、「アンプの接続と入出力の設定をする」(P.12)をご覧ください。

グラウンド・リフト・ケーブル



複数台のアンプを本機に接続したとき、ハム・ノイズが発生することがあります。
OUTPUT 端子のグラウンドをカットするときは、同梱のグラウンド・リフト・ケーブルを使います。
詳しくは、「ハム・ノイズ対策について」(P.11)をご覧ください。

電源を入れる

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. DC IN 端子に AC アダプターを接続します。
SDE-3000EVH の電源が入ります。

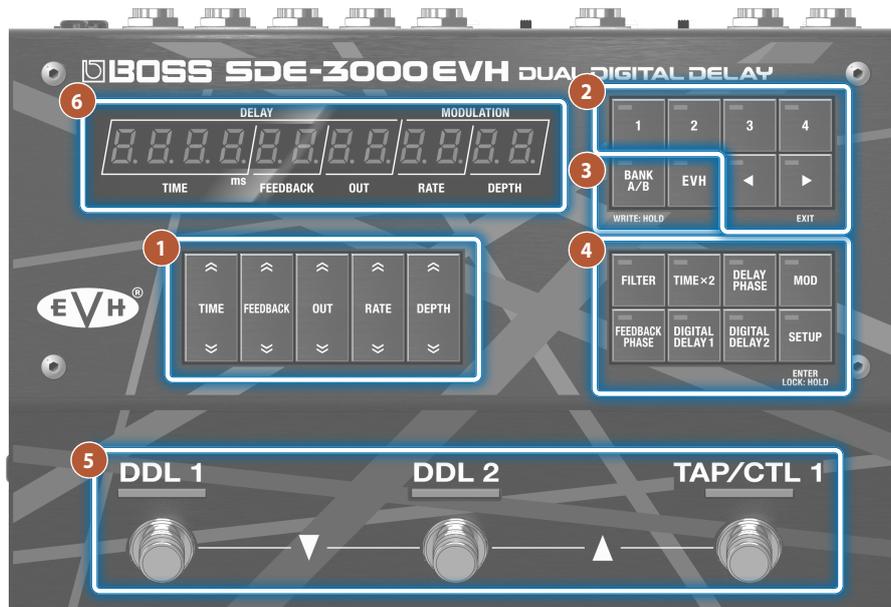


2. 接続した機器 → ギター・アンプの順で、電源を入れます。

- ※ 電源を切るときは、電源を入れるときと逆の手順で操作します。
- ※ 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- ※ 電源をオフにしたときのバンクとメモリー番号を記憶し、次に電源をオンにするときに呼び出します。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



エリア	説明
1 コントロール	各ボタンの上を押すとプラス方向（値の増加）、下を押すとマイナス方向（値の減少）に変化します。各ボタンを長押しすると、急速に変化させることができます。
	[TIME] ボタン ディレイ・タイムを調節します。
	[FEEDBACK] ボタン ディレイ・フィードバック・レベルを調節します。
	[OUT] ボタン ディレイ音の出力レベルを調節します。
	[RATE] ボタン ディレイ・モジュレーションの揺れの周期を調節します。
2 メモリー	[DEPTH] ボタン ディレイ・モジュレーションの深さを調節します。 「0」でモジュレーションがオフになります。
	[1] ~ [4] ボタン メモリーを選びます。 → 「メモリーを選ぶ」 (P.20)
3 バンク	[<] [>] ボタン プレイ画面を切り替えます。インプット・レベル ↔ パラメーター ↔ テンポ ↔ バンク/メモリー
	[BANK A/B] ボタン バンク A (赤点灯) / B (緑点灯) を切り替えます。バンク C のメモリー (C.01 ~) は、フット操作で選ぶことができます (P.6)。
	[EVH] ボタン EVH (エディ・ヴァン・ヘイレン) ボタンを押すと、エディのサウンド・システムを凝縮した設定を呼び出すことができます。 ボタンを押すたびに、EVH メモリー 1 ~ 4 (赤点灯) / EVH メモリー 5 ~ 8 (緑点灯) を切り替えます。 ※ 詳細パラメーターは、機密情報のため表示されません。 ※ SETUP の DDL 1 / DDL 2 はパラメーターが表示されません。 ※ エディットや保存はできません。ただし [OUT] ボタンのみ操作可能で、同一メモリーへの上書き保存のみ可能です。
	

エリア	説明
4 ディレイの設定	[FILTER] ボタン ディレイ・フィルター。エコーとして使用しているとき、自然な効果が得られます。
	[TIME x2] ボタン ディレイ・タイムのレンジを切り替えます。 オフ (x1) : 0.0 ~ 1500ms オン (x2) : 0.0 ~ 3000ms
	[DELAY PHASE] ボタン ディレイ音の位相を反転させます。
	[MOD] ボタン モジュレーションをオン/オフします。
	[FEEDBACK PHASE] ボタン ディレイ音のフィードバックの位相を反転させます。
	[DIGITAL DELAY 1] ボタン (DDL 1) / [DIGITAL DELAY 2] ボタン (DDL 2) DDL 1 と DDL 2 のパラメーター表示を切り替えます。TIME LINK が OFF、OFFSET のときは、DDL 1 / DDL 2 の L チャンネル (緑点灯) と R チャンネル (赤点灯) のタイム表示を切り替えることができます。
5 スイッチ	[SETUP] ボタン メモリーやシステムの設定をします。また、ボタンの長押しでロックのオン/オフができます。ロック中は他のボタン操作が無効になります。
	[DDL 1] スイッチ / [DDL 2] スイッチ DIGITAL DELAY 1/2 をオン/オフします。
	[TAP/CTL 1] スイッチ スイッチを押す間隔でディレイ・タイムを設定できます。また、CTL ファンクションやアサインで設定した機能を使えます。 [DDL 1] スイッチと [DDL 2] スイッチを同時に押ししたり、[DDL 2] スイッチと [TAP/CTL 1] スイッチを同時に押ししたりしてメモリーを選ぶことができます。 → 「フット操作でメモリーを選ぶ」 (P.6)
6 ディスプレイ	操作に応じてさまざまな情報を表示します。 プレイ画面 → 「プレイ画面の表示を切り替える」 (P.4)
	エディット画面 → 各エディットのページをご覧ください。

プレイ画面の表示を切り替える

SDE-3000EVH 起動後に表示される画面を「プレイ画面」と呼びます。

1. [◀] [▶] ボタンを押して表示を切り替えます。



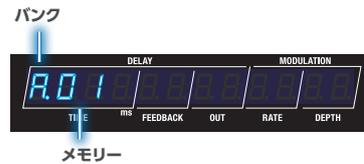
インプット・レベル表示 ↔ パラメーター表示 ↔ BPM 表示 ↔ バンク/メモリー表示

パラメーター表示



コントロール・ボタンで設定した値がすべて表示されます。

バンク/メモリー表示



注意

EVH メモリーはパラメーター非公開のため、パラメーター表示や BPM 表示はできません。

BPM 表示



BPM に連動して点滅します (初期設定)。

[TAP/CTL 1] スイッチは、他の機能に切り替えることができます。詳しくは、「CTL ファンクションの設定 (CTL)」(P.30) をご覧ください。

インプット・レベル・メーター表示



INPUT LV と表示されてから自動でインプット・レベル表示に切り替わります。

入力信号レベルに応じてメーターが動きます。



PEAK

入力信号がこのレベルを超えると、音の歪みが発生します。

※ インプット・レベルの設定は、全メモリーで共通の設定 (システム設定) です。

EVH メモリーについて

EVH メモリーのプリセット・パラメーターは内部でロックされていますが、出力レベルの調整が可能です。



EVH メモリーを選んでいるときは、これらのボタンは操作できません。

リア・パネル



エリア	説明
A	INPUT [MONO] L/MONO 端子 ギターやキーボードを接続します。 モノで使用するときには L/MONO 端子のみをご使用ください。 ステレオ入力に設定されているときは、L (左) 側の音声を入力します。
B	EXT LOOP RETURN/INPUT R 端子 外部エフェクターからの OUTPUT を接続します。 ステレオ入力に設定されているときは、R (右) 側の音声を入力します。
C	EXT LOOP SEND 端子 外部エフェクターの INPUT へ接続します。
D	EXT LOOP GND LIFT スイッチ 通常は、「OFF」に設定してください。 EXT LOOP (SEND / RETURN) 端子にアンプを接続すると、グラウンドのループ等によるノイズが発生することがあります。このときは「LIFT」に切り替えることで、ノイズが解消されることがあります。
E	RETURN IMPEDANCE スイッチ 接続する機器の出力インピーダンスに合わせて設定します。 ステレオで入力するときは、左右の信号レベルを合わせるため「Hi-Z」にしてお使いください。
F	OUTPUT [DIRECT] L/MONO 端子 ギター・アンプやミキサーなどに接続します。モノで出力するときは L/MONO 端子のみに接続してください。
G	OUTPUT [EFX L] R 端子 ギター・アンプやミキサーなどに接続します。

エリア	説明
H	OUTPUT [EFX R] 端子 ギター・アンプやミキサーなどに接続します。
I	CTL 2, 3/EXP 1 端子 エクスプレッション・ペダル (*1) やフットスイッチ (*2) を接続すると、さまざまなパラメーターをコントロールすることができます。 ※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。 ※ フットスイッチの設定については、「フットスイッチの接続」(P.29) をご覧ください。
J	CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子 エクスプレッション・ペダル (*1)、フットスイッチ (*2)、フット・コントローラー (*3) を接続すると、さまざまなパラメーターをコントロールすることができます。
K	DC IN 端子 AC アダプターを接続します。 DC IN 端子に AC アダプターを接続すると、SDE-3000EVH の電源が入ります。
L	接地端子 外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

*1 エクスプレッション・ペダル
別売: EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5

*2 フットスイッチ
別売: FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7

*3 フット・コントローラー
別売: GA-FC、GA-FC EX

サイド・パネル

MIDI (OUT/IN) 端子

TRS/TRS コネクティング・ケーブルまたは、TRS/MIDI コネクティング・ケーブルで外部 MIDI 機器に接続します。

→ 「外部 MIDI 機器を接続する」(P.36)

別売:

TRS/TRS コネクティング・ケーブル
BCC-1-3535、BCC-2-3535

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル
BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、
BMIDI-2-35



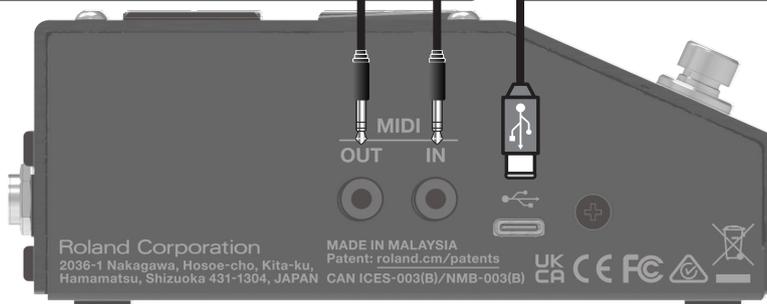
USB 端子 (USB Type-C®)

USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。

→ 「パソコンに接続する」(P.39)



※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。



Roland Corporation
2036-1 Nakagawa, Hosoe-cho, Kita-ku,
Hamamatsu, Shizuoka 431-1304, JAPAN

MADE IN MALAYSIA
Patent: roland.cm/patents
CAN ICES-003(B)/NMB-003(B)

UK CA CE FC

フットスイッチ・モードを設定する

フットスイッチ・モードには、メモリーを番号順に1つずつ選ぶ「マニュアル・モード」と、メモリーを番号順に2つずつ選ぶ「メモリー・モード」があります。また、メモリー・モードには、2つ飛びに奇数番のメモリーを選ぶ「Immediate」と2つのメモリーを表示してからメモリーを選ぶ「Wait」があります。

メモ

工場出荷時はメモリー・モードになっています。

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで [SYSTEM] を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンで [FSMod]、[MMod] パラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



パラメーター	設定値	説明
FSMod (Footswitch Mode)	MANUAL (Manual)	マニュアル・モード。 1つずつメモリーを選びます。
	MEMORY (Memory)	メモリー・モード。 2つずつメモリーを選びます。
MMod (M. Mode)	IMMEDIATE (Immediate)	Immediate メモリー・モードのとき、2つ飛び で即座にメモリーを切り替えます。
	WAIT (Wait)	Wait メモリー・モードのとき、フット操作 で2つのメモリーを表示したあと、 もう一度フット操作をしてメモリーを 切り替えます。

フット操作でメモリーを選ぶ

SDE-3000EVHは100個のメモリーがあり、フット操作でメモリーを選ぶことができます。

メモリー: EVH 1 ~ EVH 8, A.01 ~ A.04, B.01 ~ B.04, C.01 ~ C.84

メモリー・モード (工場出荷時の設定)

100個のメモリーを番号順に2つずつ選ぶモードです。

2つ飛びに奇数番のメモリーを選ぶ「Immediate」と、2つのメモリーを表示してからメモリーを選ぶ「Wait」があります。

Immediate のとき

2つ飛びで即座に奇数番のメモリーに切り替えます。偶数番のメモリーを選ぶときは、[DDL 2] スイッチを押します。

1. メモリーを選びます。

[DDL 1] + [DDL 2] スイッチ: 前のメモリー

[DDL 2] + [TAP/CTL 1] スイッチ: 次のメモリー

2つ飛びで即座にメモリーが切り替わります。

たとえば RD1 が選ばれた場合、[DDL 1] スイッチは RD1 (奇数番のメモリー) の、[DDL 2] スイッチは RD2 (偶数番のメモリー) の選択とディレイのオン/オフができます。

2. [DDL 1] [DDL 2] スイッチで、メモリーを選びます。

同じスイッチを連続で押すと、ディレイをオフにしたり、メモリーされている状態に戻したりできます。



3. ディレイをオフにするときは、もう一度同じスイッチを押します。

Wait のとき

2つのメモリーを表示してからメモリーを選びます。

1. メモリーの表示を切り替えます。

[DDL 1] + [DDL 2] スイッチ：前のメモリー
[DDL 2] + [TAP/CTL 1] スイッチ：次のメモリー
操作をするたびに表示が切り替わります。次の操作をするまでメモリーは切り替わりません。



前のメモリーを選ぶ
(メモリー・ダウン)

次のメモリーを選ぶ
(メモリー・アップ)

2. [DDL 1] [DDL 2] スイッチでメモリーを選びます。

同じスイッチを連続で押すと、ディレイをオフにしたり、メモリーされている状態に戻したりできます。



奇数番のメモリーの
選択とオン/オフ

偶数番のメモリーの
選択とオン/オフ

3. ディレイをオフにするときは、もう一度同じスイッチを押します。

マニュアル・モード

100個のメモリーを番号順に1つずつ選ぶモードです。

1. メモリーを選びます。



前のメモリーを選ぶ
(メモリー・ダウン)

次のメモリーを選ぶ
(メモリー・アップ)

2. [DDL 1] スイッチでDDL 1、[DDL 2] スイッチでDDL 2をオン/オフします。



DDL 1 のオン/オフ

DDL 2 のオン/オフ

動作	操作
前のメモリーを選ぶ	[DDL 1] スイッチ + [DDL 2] スイッチ
次のメモリーを選ぶ	[DDL 2] スイッチ + [TAP/CTL 1] スイッチ

インプットとアウトプットの設定をする

接続する機器に合わせて入出力を設定する

1. [SETUP] ボタンを押します。



2. [TIME] ボタンで「in out」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



パラメーターの選択 設定値の変更

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
in (Input Setting)	None (MONO)	INPUT L/MONO 端子から入力します。 ※ SEND/RETURN が有効になります。 詳しくは、「SEND/リターン」の設定 (P.17) をご覧ください。
	STEREO (STEREO)	INPUT L/MONO 端子と INPUT R 端子からステレオで入力します。 ※ ステレオで入力するときは、左右の信号レベルを合わせるため、RETURN IMPEDANCE スイッチを「Hi-Z」にしてお使いください。
out (Output Setting)	STEREO (STEREO)	OUTPUT L/MONO、R 端子からステレオ出力します。
	dirEFF (L: DIRECT、R: EFX)	OUTPUT DIRECT 端子からダイレクト音、OUTPUT EFX L 端子からディレイ音が出力されます。
	dirMUTE (DIRECT MUTE)	ダイレクト音がミュートされます。 ※ OUTPUT 端子に 3 本のケーブルを接続すると、自動的に信号が 3 アウトに分離します。詳しくは、「アンプを 3 台使用する場合 (1 in 3 out)」(P.10) をご覧ください。
uni GA in (Uni Gain)	4d、-10d、-20d	接続機器の入出力レベルに合わせて +4dBm、-10dBm、-20dBm を切り替えます。
in VOL (Input Volume)	1 ~ 100	入力レベルを調節します。
bypass (Bypass)	dSP (DSP)	オリジナルの Roland SDE-3000 と同じバイパス特性を完全再現しています。
	AnLG (Analog)	ハードウェアによるバイパス経路を通して出力されます。

レベル・メーターを見ながらインプット・レベルを調節する

1. プレイ画面 (起動後に表示される画面) で [◀] ボタンを押してインプット・レベル・メーターを表示します。

インプット・レベル・メーター表示



2. [DEPTH] ボタンでインプット・レベルを調節します。

アウトプットの出カレベルを調節する (Output Gain)

出力レベルを調節したいときは、-12 ~ +12dB の間で調節することができます。

1. [SETUP] ボタンを押します。



2. [TIME] ボタンで「MASTER」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [TIME] ボタンで「outGA in」を選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

アウトプット・ゲイン・パラメーター (MASTER 設定内)

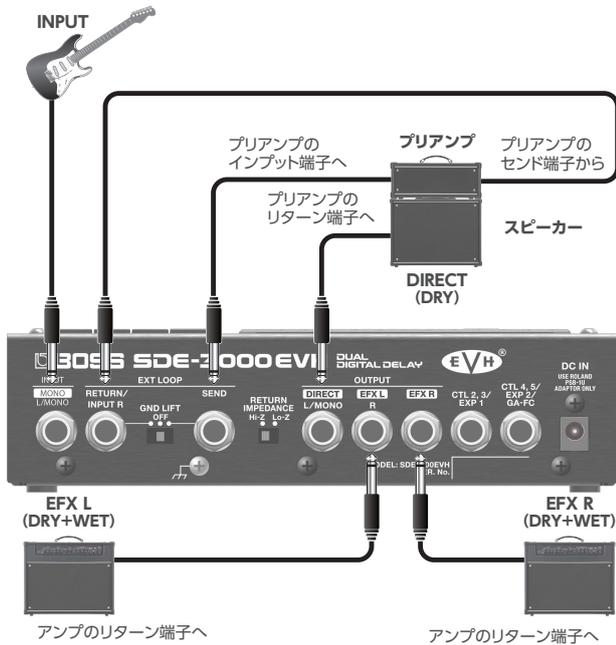
パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
outGA in (Output Gain)	-12 ~ 12	出力レベルを調節します。

EVH サウンド・セッティング

3 台のアンプを使う DRY + WET + WET のシステムの作りかたについて説明します。

プリアンプのセンド・リターンに接続する (4 ケーブル・メソッド)

プリアンプのセンド/リターンに接続することで、外部のプリアンプを利用した音作りができます。



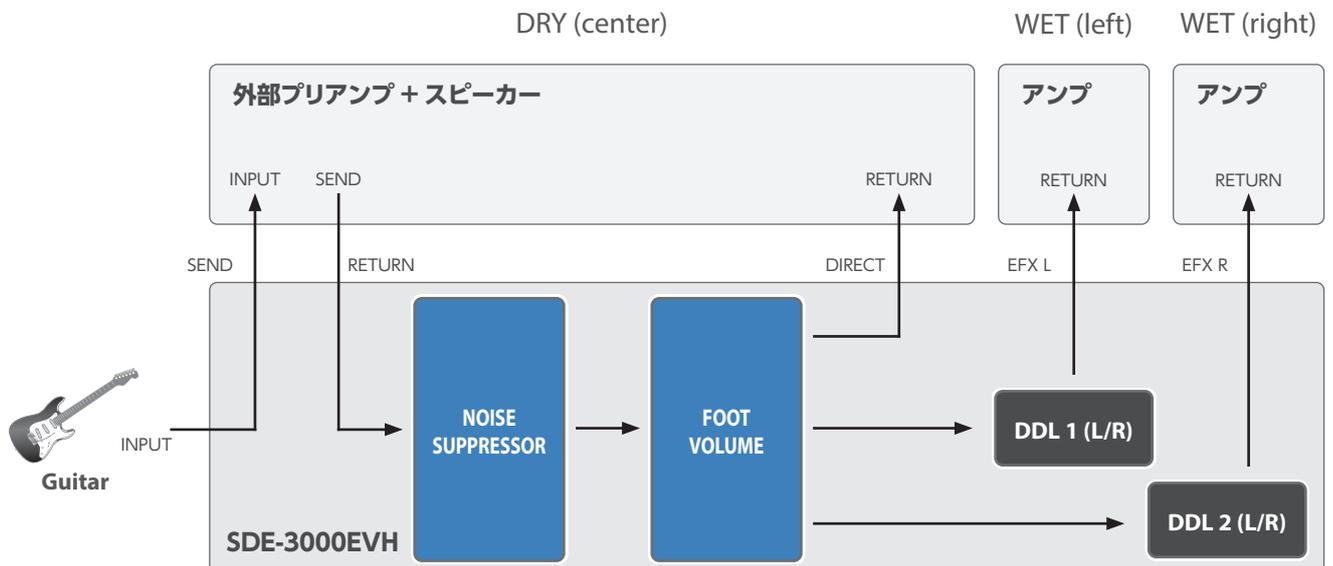
IN OUT 設定

[SETUP] → 「in out」

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
in (Input Setting)	None (MONO)	INPUT L/MONO 端子から入力します。
out (Output Setting)	STEREO (STEREO)	OUTPUT 端子に 3 本のケーブルを接続すると、自動的に信号が DRY / DRY+WET / DRY+WET に分離します。
	dr.EFX (L: DIRECT, R: EFX)	OUTPUT 端子に 3 本のケーブルを接続すると、自動的に信号が DRY / WET / WET に分離します。
	dr.MUTE (Direct Mute)	

ディレイのストラクチャー (パラレル 2: 並列接続)

2 つのディレイを並列に接続し、それぞれ別の端子から出力します。



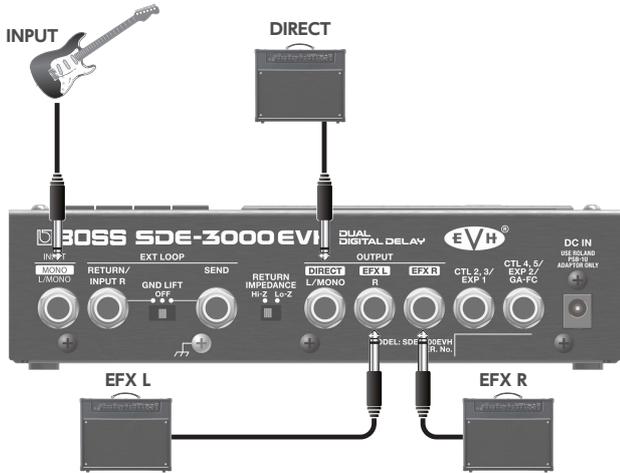
注意

複数台のアンプを本機に接続したとき、ハム・ノイズが発生することがあります。

ハム・ノイズ対策について詳しくは、「ハム・ノイズ対策について」(P.11) をご覧ください。

アンプを 3 台使用する場合 (1 in 3 out)

アンプを 3 台接続するときは、OUTPUT DIRECT 端子、OUTPUT EFX L 端子、OUTPUT EFX R 端子に接続します。OUTPUT EFX R 端子にプラグが接続されると、信号が DRY (ダイレクト音) / WET L (左のディレイ音) / WET R (右のディレイ音) に分離されます。



IN OUT 設定

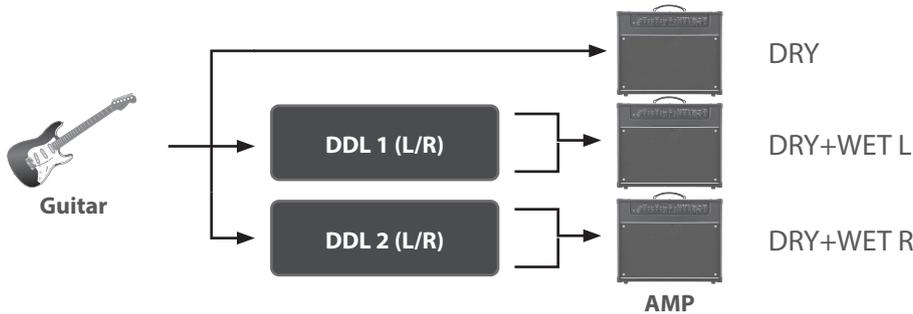
[SETUP] → 「in out」

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
in (Input Setting)	None (MONO)	INPUT L/MONO 端子から入力します。
out (Output Setting)	STEREO (STEREO)	OUTPUT 端子に 3 本のケーブルを接続すると、自動的に信号が DRY / DRY+WET / DRY+WET に分離します。
	dir.EFX (L: DIRECT, R: EFX)	OUTPUT 端子に 3 本のケーブルを接続すると、自動的に信号が DRY / WET / WET に分離します。
	dir.MUTE (Direct Mute)	

out (Output Setting) が STEREO のとき

ディレイのストラクチャー (パラレル 2: 並列接続)

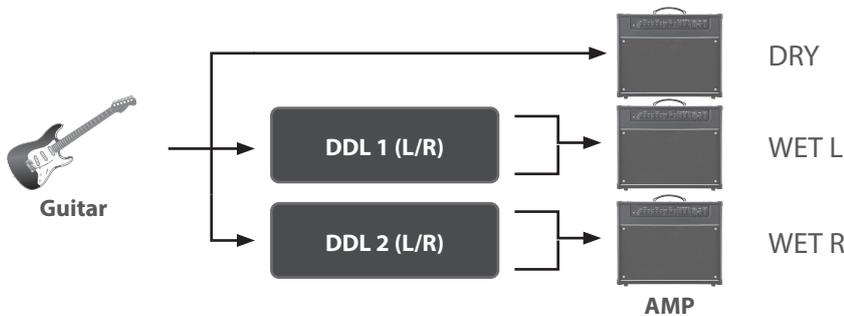
2 つのディレイを並列に接続し、それぞれ別の端子から DRY とミックスして出力します。



out (Output Setting) が dir.EFX (L: DIRECT, R: EFX) のとき

ディレイのストラクチャー (パラレル 2: 並列接続)

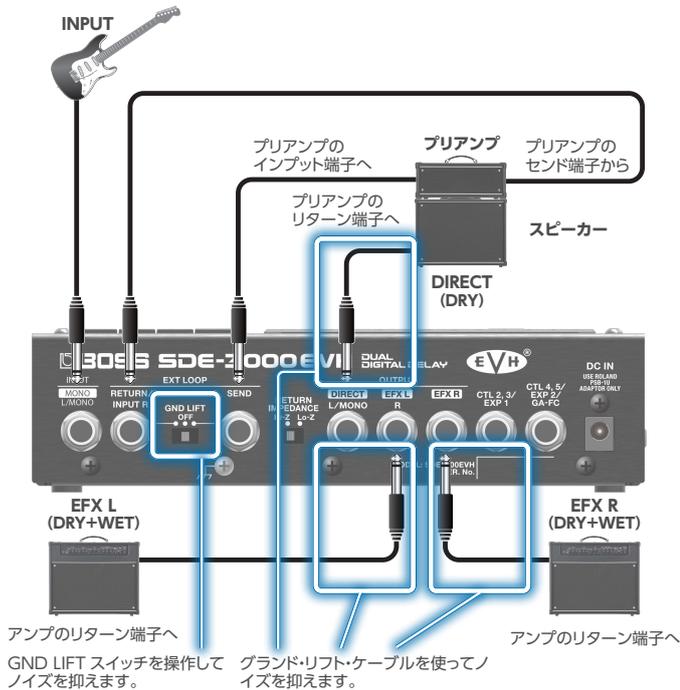
2 つのディレイを並列に接続し、それぞれ別の端子から独立して出力します。



ハム・ノイズ対策について

複数台のアンプを本機に接続したとき、ハム・ノイズが発生することがあります。
ハム・ノイズの抑えかたについて説明します。

4 ケーブル・メソッドの接続



同梱のグランド・リフト・ケーブルを使う

同梱されているケーブルは、雌側の端子のグランドがカットされています。

このケーブルを OUTPUT 端子に接続するケーブルに接続します。



注意

- 電源が 3P (3 極) のときのみお使いいただくことができます。2P のときはグランドが切れてしまうため、音が鳴らなくなります。
- グランド・リフト・ケーブルは、OUTPUT 端子以外には接続しないでください。故障の原因になります。
- ハム・ノイズは、使用する環境によって発生する原因が異なります。ハム・ノイズの出方を確認しながらグランド・リフトする箇所を決めてください。

ノイズ・サプレッサーを使う

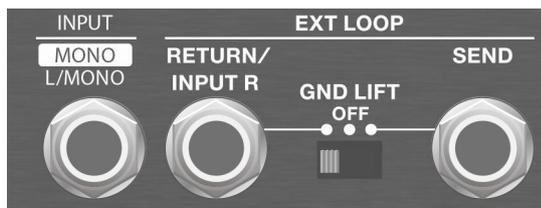
本機にはノイズ・サプレッサーが搭載されています。ハム・ノイズの状況に合わせて設定してください。

→ 「ノイズ・サプレッサーを使う」 (P.18)

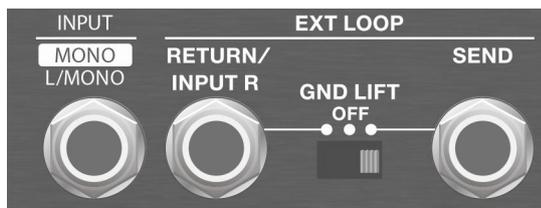
GND LIFT SW を使う

SEND/RETURN 端子には GND LIFT SW があります。

SEND 端子の GND を浮かす場合は、スイッチを左側 (RETURN 側) に倒します。



RETURN 端子の GND を浮かす場合は、スイッチを右側 (SEND 側) に倒します。



アンプの接続と入出力の設定をする

SDE-3000EVHには、ステレオ仕様に拡張された2基のデジタル・ディレイ (Roland SDE-3000) が搭載されています。2つのディレイは、シリーズ接続とパラレル接続を切り替えることができます。接続方法のことをストラクチャーといいます。

入力/出力の設定方法については、下記をご覧ください。

→ 「インプットとアウトプットの設定をする」 (P.8)

シリーズ接続とパラレル接続を切り替える (ストラクチャー)

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「*MASTER*」を選びます。
4. [TIME] ボタンで「*STRUCT*」を選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



3. [SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
Structure (Structure)	<i>SER1</i> (Series)	2つのディレイを直列に接続します。
	<i>PARA1</i> (Parallel 1)	2つのディレイを並列に接続します。
	<i>PARA2</i> (Parallel 2)	2つのディレイを OUTPUT L/MONO、R 端子から独立して出力します。

EVH メモリーはストラクチャーの変更はできません。

シリーズ接続

シリーズ

2つのディレイを直列に接続します。



パラレル接続

パラレル 1

2つのディレイを並列に接続します。



パラレル 2

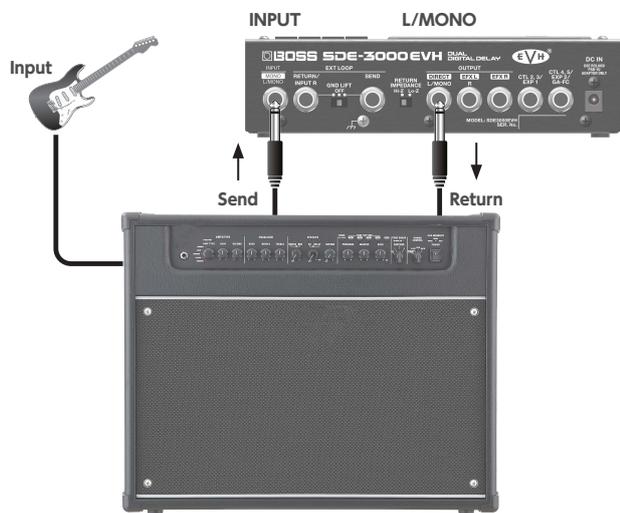
2つのディレイを OUTPUT L/MONO、R 端子から独立して出力します。



アンプを1台使用する場合 (1 in 1 out)

アンプを1台接続するときは、OUTPUT L/MONO 端子に接続します。DRY (ダイレクト音) と WET (ディレイ音) をミックスして出力します。

アンプのセンド/リターンに接続する場合



アンプの前段に接続する場合



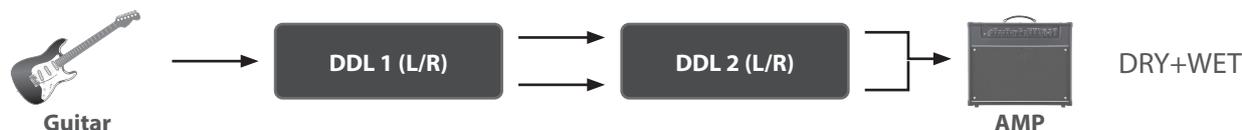
IN OUT 設定

[SETUP] → [in out]

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
in (Input Setting)	MoNo (MONO)	INPUT L/MONO 端子から入力します。
out (Output Setting)	StErEo (STEREO)	OUTPUT L/MONO 端子のみにアンプを接続すると、モノ出力になります。

ディレイのストラクチャー (シリーズ: 直列接続)

2つのディレイを直列に接続します。



ディレイのストラクチャー (パラレル 1 / パラレル 2: 並列接続)

2つのディレイを並列に接続します。

ディレイ・タイムの異なる2つのディレイを組み合わせることでサウンドを作ることができます。



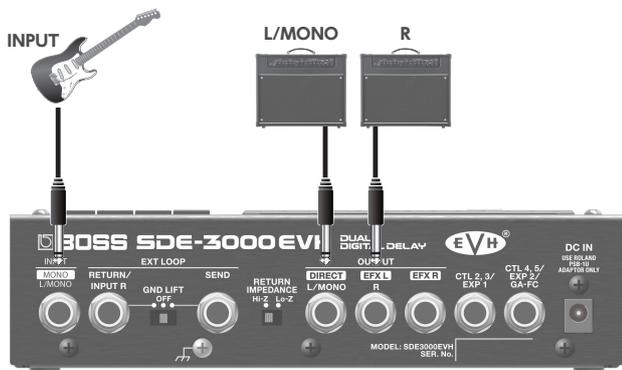
注意

SDE-3000EVH はオリジナルの Roland SDE-3000 を完全再現しています。Time の揺れなども忠実に再現しているため、パラレル接続した2基のディレイをミックスしてモノ出力した場合、設定によっては独特な変調音が発生しますが故障ではありません。

アンプを 2 台使用する場合 (1 in 2 out)

アンプを 2 台接続するときは、OUTPUT L/MONO 端子と OUTPUT R 端子に接続します。DRY (ダイレクト音) と WET (ディレイ音) をミックスして出力したり、DRY と WET を分けて出力したりできます。

DRY と WET をミックスして出力する場合



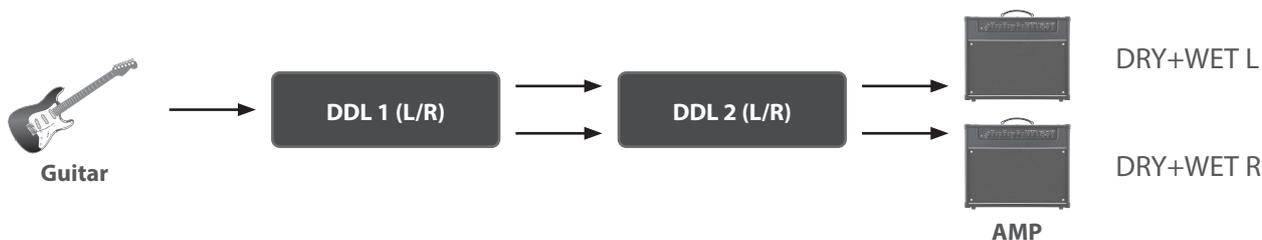
IN OUT 設定

[SETUP] → 「in out」

パラメーター	設定値	説明
[TIME] ボタン	[DEPTH] ボタン	
in (Input Setting)	mono (MONO)	INPUT L/MONO 端子から入力します。
out (Output Setting)	STEREO	OUTPUT L/MONO、R 端子からステレオ出力します。

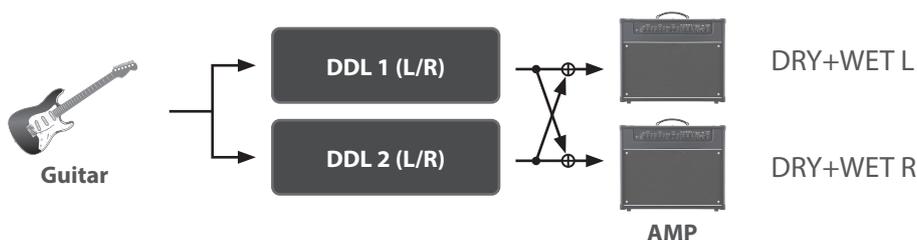
ディレイのストラクチャー (シリーズ: 直列接続)

2 つのディレイを直列に接続します。



ディレイのストラクチャー (パラレル 1: 並列接続)

2 つのディレイを並列に接続します。



ディレイのストラクチャー (パラレル 2: 並列接続)

2 つのディレイを並列に接続し、それぞれ別の端子から出力します。



DRY と WET を分けて出力する場合



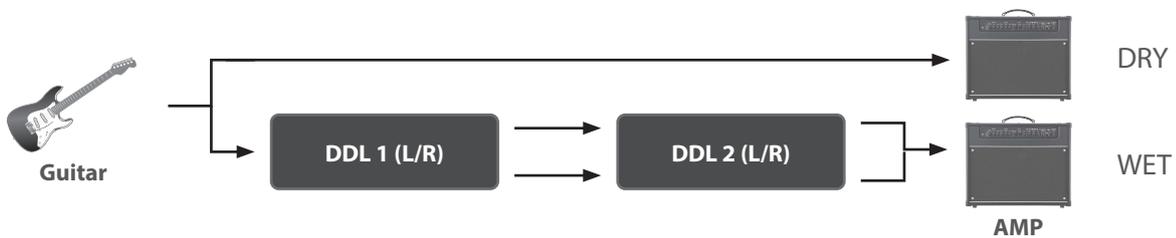
IN OUT 設定

[SETUP] → 「in out」

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
in (Input Setting)	<i>mono</i> (MONO)	INPUT L/MONO 端子から入力します。
out (Output Setting)	<i>dr.EF11</i> (L:DIRECT, R:EFX) <i>dr.MUTE</i> (Direct Mute)	OUTPUT DIRECT 端子からダイレクト音、OUTPUT EFX L 端子からディレイ音が出力されます。

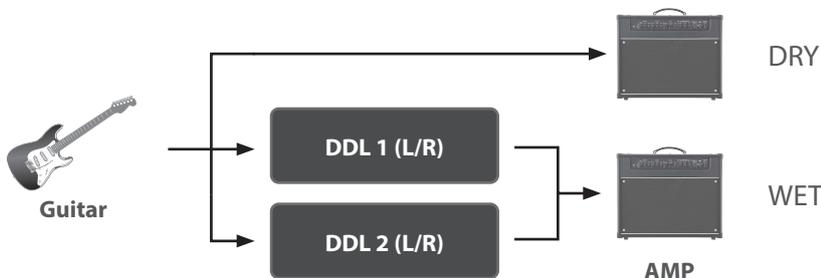
ディレイのストラクチャー (シリーズ: 直列接続)

2つのディレイを直列に接続します。



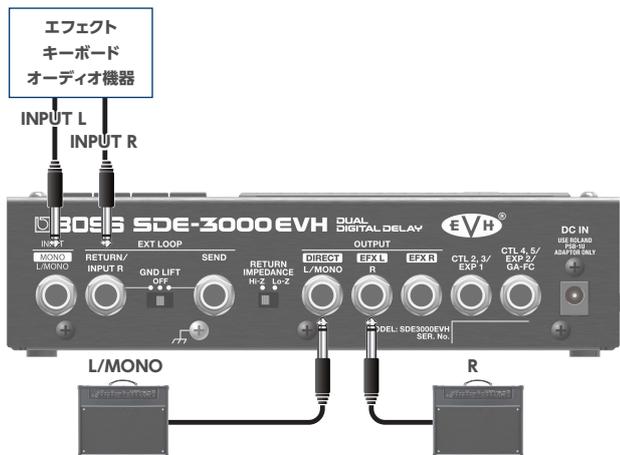
ディレイのストラクチャー (パラレル 1 / パラレル 2: 並列接続)

2つのディレイを並列に接続し、それぞれ別の端子から出力します。



ステレオ入出力する場合 (2 in 2 out)

ステレオで入力して、DRY (ダイレクト音) と WET (ディレイ音) がミックスして出力されます。



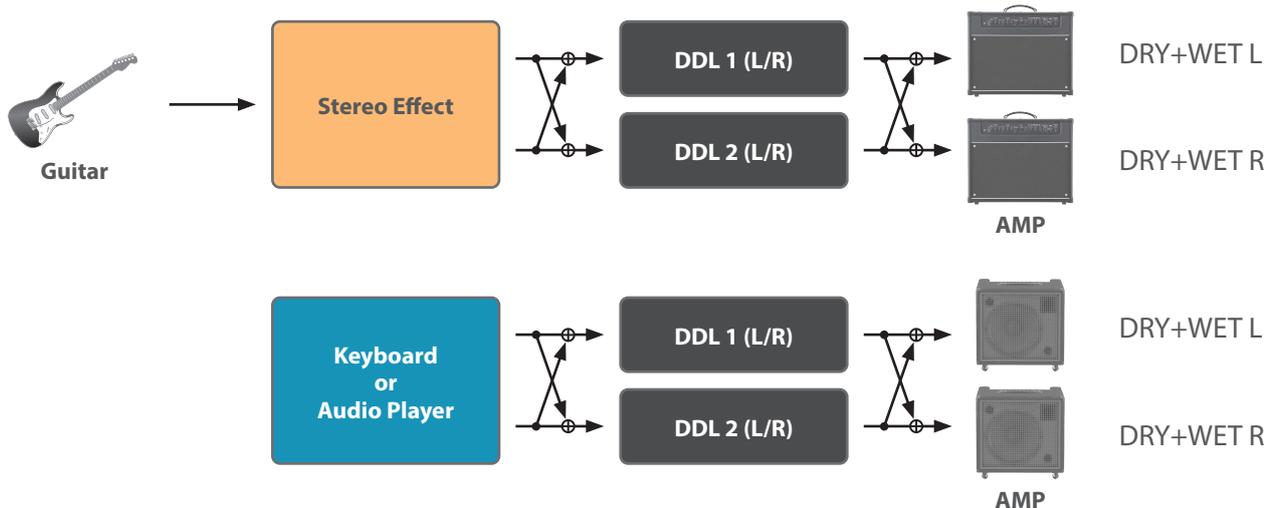
IN OUT 設定

[SETUP] → 「in out」

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
in (Input Setting)	StErEo (STEREO)	INPUT L/MONO 端子と INPUT R 端子からステレオで入力します。 ※ ステレオで入力するときは、左右の信号レベルを合わせるため、RETURN IMPEDANCE スイッチを [HI-Z] にしてお使いください。
out (Output Setting)	StErEo (STEREO)	OUTPUT L/MONO、R 端子からステレオ出力します。 ※ ステレオで入力するときは、EFX R 端子からは出力されません。

ディレイのストラクチャー (パラレル 1 : 並列接続)

2 つのディレイを並列に接続します。



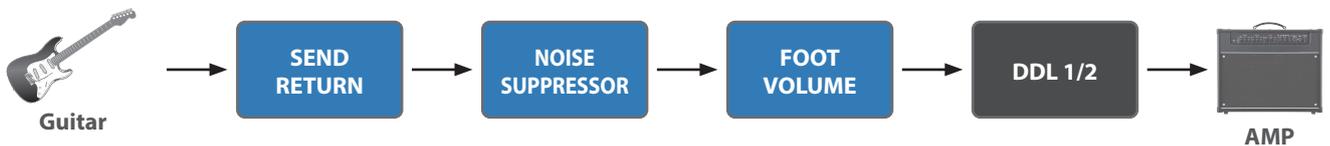
SEND/リターンを使う

SEND 端子と RETURN 端子の間に外部エフェクターを接続して、SDE-3000EVH のエフェクトの一部として使用することができます。こうすることで、外部ペダルを含むメモリーをコントロールすることができます。

SEND 端子にはエフェクト配列内の SEND / RETURN に入力された音を出力します。RETURN 端子から入力された音はエフェクト配列内の SEND / RETURN に入力されます。



経路図



SEND/リターンの設定

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで [SEnd rEtErn] を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [TIME] ボタンで [SndrEtESh] を選び、[DEPTH] ボタンで [on] に設定します。



SEND/リターン・パラメーター

パラメーター	設定値	説明
[TIME] ボタン	[DEPTH] ボタン	
SndrEtESh (Send Return Switch)	OFF (off) ON (on)	SEND/リターンをオン/オフします。
rEtLEVEL (Return Level)	0 ~ 100	外部機器からのリターン・レベルを設定します。
SrPrF (Send Return Preference)	MEMory (Memory) SYStEM (System)	SEND/リターンの設定をメモリーの設定に従うか、システムの設定に従うか設定します。

プリファレンス・パラメーター

本機は、プリファレンス・パラメーターを持っています。

「MEMory (Memory)」を選ぶと、メモリーごとに個別に設定することができます。

「SYStEM (System)」を選ぶと、システムの設定に従うので、メモリーを切り替えても同じ設定のまま使うことができます。お使用の状況に合わせて使い分けてください。

ノイズ・サプレッサーを使う

ノイズ・サプレッサーを設定する

ノイズ・サプレッサーは無音時のノイズを抑える機能です。

1. [SETUP] ボタンを押します。

ディスプレイに設定項目が表示されます。

2. [TIME] ボタンで「n5」を選びます。



3. [SETUP] ボタンを押します。



4. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
n5.5H (Noise Suppressor Switch)	OFF (off) ON (on)	ノイズ・サプレッサーをオン/オフします。
THRESHLD (Threshold)	0 ~ 100	ノイズを抑え始める音量を調節します。
RELEASE (Release)	0 ~ 100	ノイズを抑え始めてから、音量が0になるまでの時間を調節します。
nSPRF (Noise Suppressor Preference)	MEMORY (Memory) SYSTEM (System)	ノイズ・サプレッサーの設定をメモリーの設定に従うか、システムの設定に従うか設定します。

フット・ボリュームを使う

フット・ボリュームを設定する

音量をコントロールするエフェクトです。CTL2,3/EXP1 端子、CTL4,5/EXP2/GA-FC 端子に接続したエクスプレッション・ペダルで操作します。

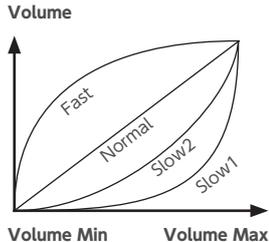
1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで **[Foot Vol]** を選びます。



3. [SETUP] ボタンを押します。



4. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
F.UoL.SW (Foot Vol Switch)	oFF (off) oN (on)	フット・ボリュームのオン、オフを設定します。
PEdAL.PoS (Pedal Position)	0 ~ 100	音量を設定します。
UoL.N in (Volume Min)	0 ~ 100	ペダルのかかと側を踏んだときの音量を設定します。
UoL.NRII (Volume Max)	0 ~ 100	ペダルのつま先側を踏んだときの音量を設定します。
CUrVE (Curve)	SLoW1 (Slow1) SLoW2 (Slow2) noR-NAL (Normal) FASt (Fast)	ペダルを踏み込む量に対して、実際の音量がどのように変化するかを選びます。 
FUPrF (Foot Vol Preference)	MEMoRY (Memory) SYStEM (System)	フット・ボリュームの設定をメモリーの設定に従うか、システムの設定に従うか設定します。

演奏する

メモリーを選ぶ

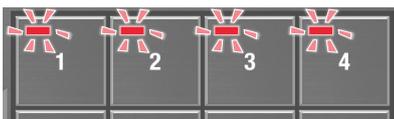
1. [BANK A/B] ボタンまたは [EVH] ボタンを押して、バンクを選びます。



- [BANK A/B] ボタンを押すたびに、BANK A と BANK B が切り替わります。
- [EVH] ボタンを押すたびに、EVH (1 ~ 4) と EVH (5 ~ 8) が切り替わります。

ボタン (インジケータの色)	バンク (メモリー)
[BANK A/B] ボタン (赤点灯)	BANK A (1 ~ 4)
[BANK A/B] ボタン (緑点灯)	BANK B (1 ~ 4)
[EVH] ボタン (赤点灯)	EVH (1 ~ 4)
[EVH] ボタン (緑点灯)	EVH (5 ~ 8) ※ [1] ~ [4] ボタンで、EVH 5 ~ 8 を選びます。

バンクを選ぶと、メモリー・ボタンのインジケータとディスプレイのメモリー番号が点滅します。



2. [1] ~ [4] ボタンを押して、メモリーを選びます。

エディットする

ディレイ音を設定する (トップ・パネルからの操作)

ディスプレイに表示されているパラメーターをボタンで変更します。

1. ディスプレイをプレイ画面のパラメーター表示に切り替えます (P.4)。



2. [DIGITAL DELAY 1] [DIGITAL DELAY 2] ボタンを押して、操作対象のディレイを選びます。



3. コントロール・ボタンで、ディレイを設定します。



ボタン (パラメーター)	設定値/説明
[TIME] ボタン	ディレイ・タイムを設定します。 00 ~ 1500 0.0 ~ 1500ms (TIMEx2 オフ) 00 ~ 3000 0.0 ~ 3000ms (TIMEx2 オン) 音符 音符で設定します (*1)。
[FEEDBACK] ボタン	0 ~ 99 フィードバック量を設定します。
[OUT] ボタン	0 ~ 99 ディレイ音の出力音量を設定します。
[RATE] ボタン	0 ~ 99、0r (音符) *1 モジュレーションの速さを設定します。
[DEPTH] ボタン	0 ~ 99 モジュレーションの深さを設定します。

*1 設定可能な音符一覧

記号	説明
1_1b	16分音符
8t	3連8分音符
16d	付点16分音符
1_8	8分音符
4t	3連4分音符
8d	付点8分音符
1_4	4分音符

記号	説明
2t	3連2分音符
4d	付点4分音符
1_2	2分音符
1t	3連全音符
2d	付点2分音符
1_1	全音符

※ 設定した音符がディレイ・タイムの上限を超えるときは、半分の長さに置き換わります。

その他のディレイ・パラメーター (DDL 1、DDL 2)

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで「ddl 1」「ddl 2」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター・リスト (DDL 1、DDL 2 共通)

メモ

[DIGITAL DELAY 1] ボタンと [DIGITAL DELAY 2] ボタンで DDL 1 と DDL 2 のパラメーターを切り替えます。

パラメーター	設定値/説明
d 15H (DDL 1 Switch) d 25H (DDL 2 Switch)	DDL 1 または DDL 2 のオン/オフを設定します。 oFF (Off) オフ oN (On) オン
d 1tYP (DDL 1 type) d 2tYP (DDL 2 type)	DDL 1 または DDL 2 のタイプを設定します。 SErEo (Stereo) ステレオ入出力のディレイです。 PAN (Pan) ディレイ・タイム (音を遅らせる時間) をL/Rチャンネルに振り分けたタップ・ディレイ効果が得られます。
d 1tNL inL (DDL 1 Timelink) d 2tNL inL (DDL 2 Timelink)	DDL 1 または DDL 2 の Delay Time を左右独立させるか (off)、左右共通にするか (on) を設定します。 oFF (Off) ディレイ・タイムを左右独立させます。 oN (On) ディレイ・タイムを左右共通にします。
d 1oFF5t (DDL 1 Offset) d 2oFF5t (DDL 2 Offset)	オフセットの設定を維持しながら左右が連動します。タップ・テンポにも追従します。 d 1tNL inL、d 2tNL inL が o5t のときに表示されます。 -99 ~ 0 ~ 99 R ch のディレイ・タイムを L ch からずらす時間を設定します (msec)。オフセットが「0」のときは、左右同時に鳴ります。
d 1WAVEFN (DDL 1 Waveform) d 2WAVEFN (DDL 2 Waveform)	モジュレーションの波形を選びます。 tR (Triangle) 三角波 SDE-3000 のオリジナルの波形です。 S in (Sine) 正弦波
d 1ModPH (DDL 1 Mod phase) d 2ModPH (DDL 2 Mod phase)	左右の位相を設定します。 nor (Normal) ノーマル (正相) 位相は変化しません。 inL (Invert) インバート (逆相) 位相が逆転します。
d 1FbEQtP (DDL 1 Feedback EQ type) d 2FbEQtP (DDL 2 Feedback EQ type)	ディレイのフィードバックにける EQ タイプを選びます。 oFF (Off) フィードバック EQ はオフです。 oRg (Original) SDE-3000 のオリジナルの特性です。 uSr (User) ユーザー設定で自由にセットできます。

パラメーター	設定値/説明
<i>d1fblcf</i> (DDL 1 Feedback EQ Lo Freq) <i>d2fblcf</i> (DDL 2 Feedback EQ Lo Freq) *1	設定された周波数より低い周波数成分をカットします (ロー・カット・フィルター)。 FLAt (Flat) ロー・カット・フィルターは、はたらかしません。 20、25、31.5、40、50、63、80、100、125、160、200、250、315、400、500、630、800 (Hz) 20 ~ 800
<i>d1fbhcf</i> (DDL 1 Feedback EQ hi Freq) <i>d2fbhcf</i> (DDL 2 Feedback EQ hi Freq) *1	設定された周波数より高い周波数成分をカットします (ハイ・カット・フィルター)。 630 ~ 125k 630、800、1000、1.25k、1.6k、2k、2.5k、3.15k、4k、5k、6.3k、8k、10k、12.5k (Hz) FLAt (Flat) ハイ・カット・フィルターは、はたらかしません。
<i>d1fbhcg</i> (DDL 1 Feedback EQ Hc Gain) <i>d2fbhcg</i> (DDL 2 Feedback EQ Hc Gain) *1	高音域の音質を調節します。 -24 ~ 0

*1 *d1fbeglp* (DDL 1 Feedback EQ type)、*d2fbeglp* (DDL 2 Feedback EQ type) パラメーターが *usr* (User) に設定されているときのみ表示されます。

左右のディレイ・タイムをリンクさせる (タイム・リンク)

タイム・リンクとは、左右のディレイ・タイムを共通にしたり、独立させたりする機能です。

- [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
- [TIME] ボタンで *[ddl 1]* *[ddl 2]* を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
- [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター	設定値/説明
<i>d1tlnl on</i> (DDL 1 Timelink) <i>d2tlnl on</i> (DDL 2 Timelink)	DDL 1 または DDL 2 の Delay Time を左右独立させるか (off)、左右共通にするか (on) を設定します。 oFF (Off) ディレイ・タイムを左右独立させます。 oN (On) ディレイ・タイムを左右共通にします。
<i>d1offst</i> (DDL 1 Offset) <i>d2offst</i> (DDL 2 Offset)	オフセットの設定を維持しながら左右が連動します。タップ・テンポにも追従します。 <i>d1tlnl on</i> 、 <i>d2tlnl on</i> が <i>o5t</i> のときに表示されます。 R ch のディレイ・タイムを L ch からずらす時間を設定します (msec)。オフセットが「0」のときは、左右同時に鳴ります。 -99 ~ 0 ~ 99

ディレイ・タイムを左右共通の設定にする (タイム・リンク：オン)

タイム・リンクをオンに設定すると、ディレイ・タイムは左右共通の設定になります。タップ・テンポでディレイ・タイムを変えても、左右共通の状態を維持します。

- [SETUP] ボタンを押します。
- [TIME] ボタンで *[ddl 1]* *[ddl 2]* を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
- [TIME] ボタンで *[d1tlnl on]* *[d2tlnl on]* を選び、[DEPTH] ボタンで *[on]* にします。
左右のディレイ・タイムが同じ値になります。

ディレイ・タイムを左右独立した設定する (タイム・リンク：オフ)

タイム・リンクをオフにすると、左右のディレイ・タイムを完全に独立して設定します。タップ・テンポでディレイ・タイムを変えると、左右のどちらか選択中のディレイだけが変更されます。

- [SETUP] ボタンを押します。
- [TIME] ボタンで *[ddl 1]* *[ddl 2]* を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
- [TIME] ボタンで *[d1tlnl on]* *[d2tlnl on]* を選び、[DEPTH] ボタンで *[oFF]* にします。

Lch から 400msec、Rch から 800msec の異なるディレイを出力する



- [DIGITAL DELAY 1] ボタンを緑点灯にして、TIME を「400」に設定します。
- [DIGITAL DELAY 1] ボタンを赤点灯にして、TIME を「800」に設定します。

左右で異なるディレイ・タイムを設定する (タイム・リンク：オフセット)

ディレイ・タイムをオフセット調整して、左右で異なるディレイ・タイムを設定することができます。タップ・テンポでディレイ・タイムを変えても、オフセットの状態を維持します。

- [SETUP] ボタンを押します。
- [TIME] ボタンで *[ddl 1]* *[ddl 2]* を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
- [TIME] ボタンで *[d1tlnl on]* *[d2tlnl on]* を選び、[DEPTH] ボタンで *[o5t]* にします。

4. [TIME] ボタンで「dLoFF5t」または「d2oFF5t」を選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



Rchの値は、Lchの値からオフセットの設定 (-10msec) だけずれた値になります。

メモ

オフセットが「0」のときは、左右同時に鳴ります。

ディレイ・タイムを「505msec」、オフセットを「-10」に設定した場合

微妙に左右のディレイ・タイムをずらしたサウンドを空間合成して、広がりのあるディレイ・サウンドになります。

Lチャンネル (505msec)

この画面のときは、[TIME] ボタンでディレイ・タイムを変更することができます。



Rチャンネル (495msec)

オフセットで設定した値 (先頭に「a」) が表示されます。この画面のときは、[TIME] ボタンでオフセット値を変更することができます。

メモ

[DIGITAL DELAY 1] または [DIGITAL DELAY 2] ボタンを続けて押し、ボタンを押すたびにLチャンネルとRチャンネルが切り替わります。

1. **タップ・テンポでディレイ・タイムを変更します。**



テンポが変わっても、オフセット量が常に一定となり、音像を保つことができます。

Lチャンネル (542msec)

この画面のときは、[TIME] ボタンでディレイ・タイムを変更することができます。



Rチャンネル (532msec)

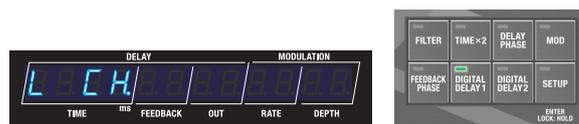
オフセットで設定した値 (先頭に「a」) が表示されます。この画面のときは、[TIME] ボタンでオフセット値を変更することができます。

DDL 1 / DDL 2 の左右のタイム表示を切り替える

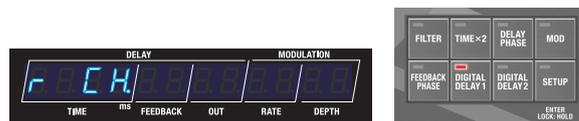
1. **インジケーターが点灯している [DIGITAL DELAY 1] または [DIGITAL DELAY 2] ボタンを押します。**

ボタンを押すたびに、選ばれたチャンネル (Lch/Rch) がディスプレイにポップアップ表示され、左右のタイム表示が切り替わります。

Lチャンネル (インジケーター緑点灯)



Rチャンネル (インジケーター赤点灯)



ディレイ・タイム以外のパラメーターは、左右共通です。

ディレイのオン/オフ時やメモリーの切り替え時に響きを残す (キャリア・オーバー)

キャリア・オーバーをオンにすると、ディレイのオン/オフ時や、メモリーを切り替えたときに切り替え前のディレイの残響音を残すことができます。

キャリア・オーバーをオンにする

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで「[NAsEtEr]」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンで「d1CrYoUr」または「d2CrYoUr」を選び、[DEPTH] ボタンで「on」にします。

キャリア・オーバー・パラメーター (MASTER 設定内)

パラメーター	設定値	説明
[TIME] ボタン	[DEPTH] ボタン	
d1CrYoUr (DDL 1 Caryover)	on (On)	オンにすると、ディレイのオン/オフ時や、メモリーを切り替えたときに、切り替え前のディレイの残響音を残すことができます。
d2CrYoUr (DDL 2 Caryover)	off (Off)	キャリア・オーバーが無効になります。
	on (On)	キャリア・オーバーが有効になります。

テンポを設定する (BPM)

ディレイ・タイムを音符で設定したときのテンポを設定します。

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで [MASTER] を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. [TIME] ボタンで [BPM] を選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

BPM パラメーター (MASTER 設定内)

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>bPM</i> (BPM)	40 ~ 250	テンポを設定します。

メモ

外部クロックを受信したときは、以下のように表示されます。



その他のパラメーターを設定する (MASTER)

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. [TIME] ボタンで [MASTER] を選びます。



3. [SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



4. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>ModL inL</i> (Mod Link)	<i>nor</i> (Normal)	DDL 1、2 間のモジュレーションの位相を合わせます。
	<i>inU</i> (Invert)	DDL 1、2 間のモジュレーションの位相を反転させます。
	<i>oFF</i> (off)	オフ (フリーラン) にします。
<i>d ir.LEVEL</i> (Direct Level)	0 ~ 100	ダイレクト・レベルを設定します。 [60] に設定すると、入出力のバランスが 1:1 になります (ユニティ・ゲイン)。
<i>ou t.GA in</i> (Output Gain)	- 12 ~ 12	出力レベルを調節します。
<i>TEMPo.HLd</i> (Tempo Hold)	<i>oFF</i> (off) <i>oN</i> (on)	メモリーを切り替えたとき、テンポ (BPM) を変えるか (<i>oFF</i>)、維持するか (<i>oN</i>) を設定します。テンポを維持することによりディレイ・タイムも維持することができます。ただし、切り替えたパッチの NOTE 設定 (音符) が異なる場合はディレイ・タイムも変わります。メモリーごと設定を変えることができます。

便利な機能

ディレイ・タイムの音符表示と時間表示を切り替える

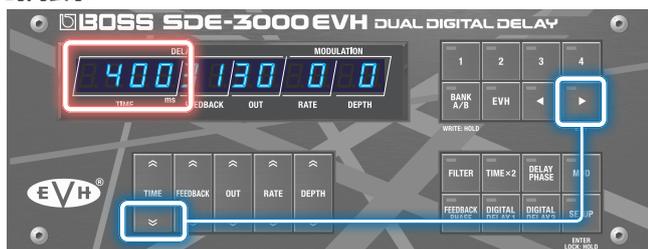
1. プレイ画面がパラメーター表示のとき、[▶] ボタンを押しながら [TIME] ボタンの上下を押します。

操作	表示
[▶] ボタン + [TIME (上)] ボタン	音符表示
[▶] ボタン + [TIME (下)] ボタン	時間表示

音符表示



時間表示



設定可能な音符一覧

記号	説明
1.16	16分音符
8t	3連8分音符
16d	付点16分音符
1.8	8分音符
4t	3連4分音符
8d	付点8分音符
1.4	4分音符

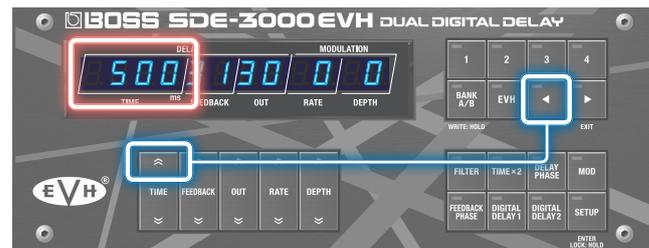
記号	説明
2t	3連2分音符
4d	付点4分音符
1.2	2分音符
1t	3連全音符
2d	付点2分音符
1.1	全音符

ディレイ・タイムを大きく変更する

1. プレイ画面のディレイ・タイムが時間表示のとき、[◀] ボタンを押しながら [TIME] ボタンの上下を押します。設定値が大きくなが減少します。

操作	表示
[◀] ボタン + [TIME (上)] ボタン	設定値が大きくなる
[◀] ボタン + [TIME (下)] ボタン	設定値が小さくなる

設定値を大きく増加させる



設定値を大きく減少させる

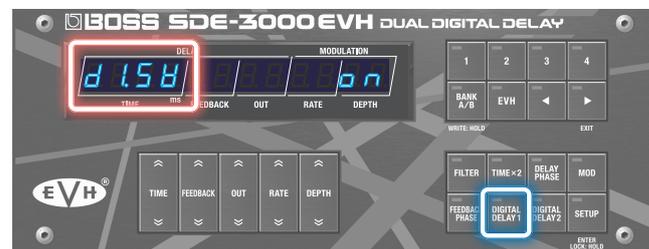


パラメーターの設定画面で DDL 1 と DDL 2 を切り替える

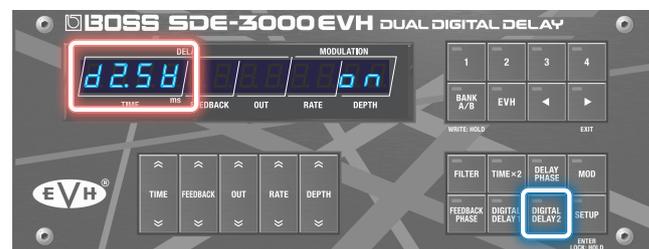
1. ディレイのエディット中に [DIGITAL DELAY 1] [DIGITAL DELAY 2] ボタンを押します。

パラメーターを変えずにボタンで選んだディレイの設定画面に切り替わります。選択中のディレイのインジケーターが点灯します。

DDL 1



DDL 2



メモリーの保存や入れ替えなどをする

メモリーを保存する (WRITE)

選択中のメモリーを保存します。

1. [BANK A/B] (WRITE) ボタンを長押しします。
ライト・メニューが表示されます。



ディスプレイに「Br tE」と表示されていないときは、[TIME] ボタンで「Br tE」を選びます。

2. [SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
書き込み先のメモリー番号が表示されます。



3. 書き込み先を変更するときは、[DEPTH] ボタンでメモリー番号を選びます。



- ※ EVH1 ~ 8 には書き込むことはできません。
- ※ EVH1 ~ 8 はアウト・レベルのみ設定を変更することができます。また、上書き保存のみが可能です。
- ※ EVH1 ~ 8 は他のメモリーへ保存することはできません。

中止するときは、[▶] (EXIT) ボタンを押して、ライト・メニューに戻ります。

4. [BANK A/B] (WRITE) ボタンを押して、メモリーを保存します。

保存が完了すると、書き込み先のメモリーに変わり、プレイ画面に戻ります。

メモリーを入れ替える (EXCHANGE)

保存されているメモリーのメモリー番号を入れ替えます。

1. [BANK A/B] (WRITE) ボタンを長押しします。
ライト・メニューが表示されます。



2. [TIME] ボタンで [EiChAnGE] を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



入れ替えるメモリー番号が表示されます。



3. 入れ替えるメモリー番号を変更するときは [DEPTH] ボタンでメモリー番号を選びます。



- ※ EVH1 ~ 8 はエクスチェンジすることはできません。

中止するときは、[▶] (EXIT) ボタンを押して、ライト・メニューに戻ります。

4. [BANK A/B] (WRITE) ボタンを押して、エクスチェンジを実行します。

エクスチェンジが完了すると、プレイ画面に戻ります。

メモリーを初期化する (INITIALIZE)

選択中のメモリーを初期化します。

注意

EVH1 ~ 8 はイニシャライズすることはできません。
 ファクトリー・リセットで対象に EVH1 ~ EVH8 を選ぶと、工場出荷時の状態に戻すことができます。

→ 「工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)」 (P.41)

1. [BANK A/B] (WRITE) ボタンを長押しします。

ライト・メニューが表示されます。



2. [TIME] ボタンで「INITIALIZE」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



初期化するメモリー番号が表示されます。



3. 初期化するメモリー番号を変更するときは [DEPTH] ボタンでメモリー番号を選びます。



中止するときは、[▶] (EXIT) ボタンを押して、ライト・メニューに戻ります。

4. [BANK A/B] (WRITE) ボタンを押して、イニシャライズを実行します。

イニシャライズが完了すると、プレイ画面に戻ります。

誤操作を防ぐ (パネル・ロック)

ボタンの操作を有効 (Lock OFF) にするか／無効 (Lock ON) にするかを切り替えることができます。

メモ

電源をオフにすると、パネル・ロックの設定は無効になります。

1. プレイ画面で [SETUP] ボタンを長押しします。

ボタンを押すたびにオン／オフが切り替わります。

状態が切り替わると以下の画面が表示され、プレイ画面に戻ります。

Lock ON



Lock OFF

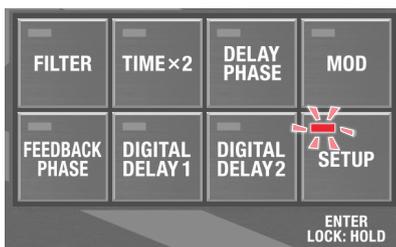


ロック中に操作をすると、ディスプレイに「LoCkEd」と表示されます。



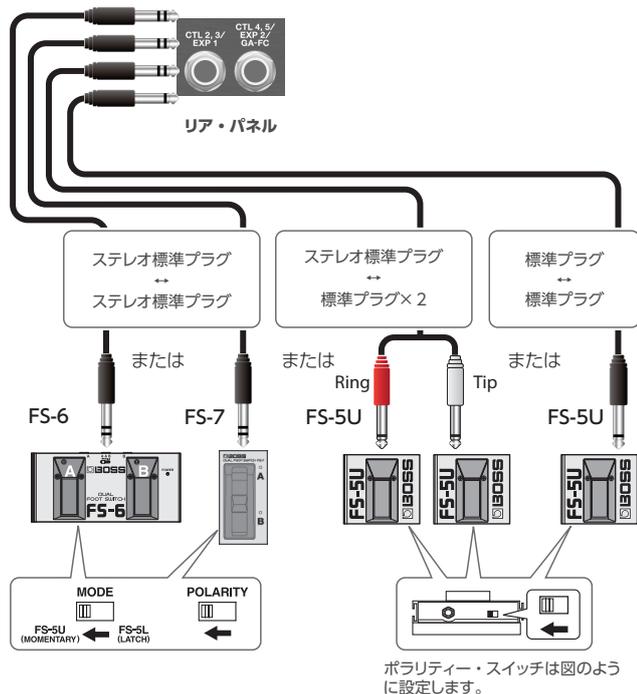
メモ

パネル・ロックがオンのときは、[SETUP] ボタンが点灯します。



外部コントローラーを設定する

フットスイッチの接続



フットスイッチ		CTL 2,3/EXP 1 端子	CTL 4,5/EXP 2/ GA-FC 端子
FS-6	A	CTL 3	CTL 5
	B	CTL 2	CTL 4
FS-7	A	CTL 3	CTL 5
	B	CTL 2	CTL 4
FS-5U	RING (赤)	CTL 2	CTL 4
	TIP	CTL 3	CTL 5

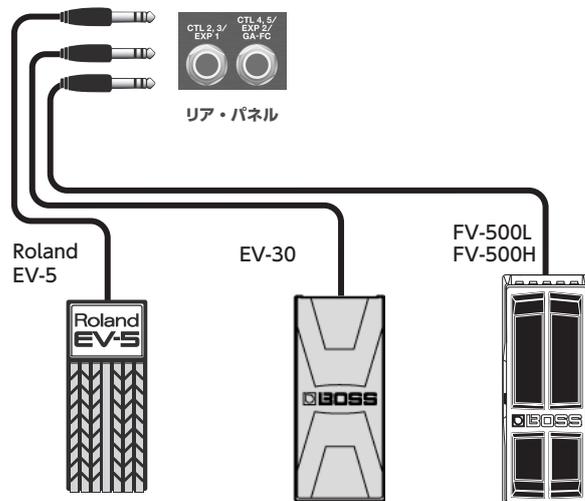
※ 本機はラッチ・タイプのフットスイッチに対応しています。
FS-6、FS-7 使用時は A、B のモードを FS-5U (MOMENTARY) に設定してください。

対応フットスイッチ

別売：FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7

エクスプレッション・ペダルの接続

エクスプレッション・ペダルを接続すると、音量などをコントロールできます。



※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。
他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

対応エクスプレッション・ペダル

別売：BOSS EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5

外部コントローラーを設定する

CTL ファンクションの設定 (CTL)

- [SETUP] ボタンを押します。**
ディスプレイに設定項目が表示されます。
- [TIME] ボタンで [CTL] を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。**
- [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。**



コントロール・パラメーター

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明	
	OFF (Off)	CTL 1 ~ CTL 5 スイッチをオフにします。	
	bPnAP (BPM Tap)	BPM をタップ入力します。	
	d 12AP (DDL 1/DDL 2 Tap)	DDL 1 と DDL 2 (同時)	
	d 1LAP (DDL 1 Lch Tap)	DDL 1 の L チャンネル	
	d 1RAP (DDL 1 Rch Tap)	DDL 1 の R チャンネル	ディレイ・タイムをタップ入力します。
	d 2LAP (DDL 2 Lch Tap)	DDL 2 の L チャンネル	
	d 2RAP (DDL 2 Rch Tap)	DDL 2 の R チャンネル	
	d 12SH (DDL 1/DDL 2 Switch)	DDL 1 と DDL 2 (同時)	
	d 1SH (DDL 1 Switch)	DDL 1	エフェクトをオン/オフします。
	d 2SH (DDL 2 Switch)	DDL 2	
[CTL 1 Function] ⋮ [CTL 5 Function]	d 12HLd (DDL 1/DDL 2 Hold)	DDL 1 と DDL 2 (同時)	押している間だけ、ディレイ音が繰り返されます (*1、*2)。
	d 1HLd (DDL 1 Hold)	DDL 1	
	d 2HLd (DDL 2 Hold)	DDL 2	
	d 12MoM (DDL 1/DDL 2 MOMENT)	DDL 1 と DDL 2 (同時)	押している間だけ、ディレイ音を出力します (*1)。
	d 1MoM (DDL 1 MOMENT)	DDL 1	
	d 2MoM (DDL 2 MOMENT)	DDL 2	
	bYPASS (Bypass)	バイパスをオン/オフします。オンのときは、入力された音をそのまま出力します。 → [Bypass の経路図 (外部コントローラーによるバイパス時の経路)] (P.35)	
	MEMUp (Memory up)	次のメモリーに切り替えます。	
	MEMdn (Memory down)	1 つ前のメモリーに切り替えます。	
	Send/Retn (Send/Return)	SEND/リターンをオン/オフします。	
	MEMNoN (MEMORY NUMBER)	好きなメモリー番号をアサインでき、すぐに呼び出すことができます。(CTL 1, Fnc にこの機能はありません)	

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明	
[CTL 2 Number] ⋮ [CTL 5 Number]	EuH 1 ~ 8、 RD 1 ~ 04、 bD 1 ~ 04、 CD 1 ~ 04	[CTL 2 Function] ~ [CTL 5 Function] で MEMNoN (MEMORY NUMBER) に設定したときに、各コントロールにメモリーをアサインします。	
[CTL 1 DDL 1 Hold] ⋮ [CTL 5 DDL 2 Hold]	[CTL 1 Fnc] ~ [CTL 5 Fnc] が d 12HLd、d 1HLd、d 2HLd のとき 0 ~ 120	Hold レベルを調節します。	
[CTL 1.Mode] ⋮ [CTL 5.Mode]	[CTL 1.Mode] ~ [CTL 5.Mode] が OFF、bAP、MEMUp MEMdn のときは、このパラメーターは表示されません。 toGGLE (Toggle) MoMEnt (Moment)	操作するたびにオン/オフが切り替わります。 スイッチを踏んでいる間のみオンになります。踏んでいないときはオフになります。	
[CTL 1 PREFERENCE] ⋮ [CTL 5 PREFERENCE]	MEMorY (Memory) SYSTEM (System)	CTL スイッチをメモリーごとに異なった設定にするのか (MEMorY)、すべてのメモリーで同じ設定を共有するか (SYSTEM) を設定します。	
	OFF (Off)	EXP 1、EXP 2 ペダルは使用しません。	
	FU (Foot Volume)	フット・ボリュームの音量を調節します。	
	d 1L (DDL 1 Time Lch)	DDL 1 の L チャンネル	
	d 1R (DDL 1 Time Rch)	DDL 1 の R チャンネル	ディレイ・タイムを調節します。 ※ 音符は表示されません。
	d 2L (DDL 2 Time Lch)	DDL 2 の L チャンネル	
	d 2R (DDL 2 Time Rch)	DDL 2 の R チャンネル	
[EXP 1.Function] [EXP 2.Function]	d 1FB (DDL 1 Feedback) d 2FB (DDL 2 Feedback)	DDL 1 DDL 2	フィードバック量を調節します。
	d 1out (DDL 1 Out)	DDL 1	ディレイの音量を調節します。
	d 2out (DDL 2 Out)	DDL 2	
	d 1MR (DDL 1 Modulation Rate)	DDL 1	モジュレーションのレートを調節します。
	d 2MR (DDL 2 Modulation Rate)	DDL 2	
	d 1MD (DDL 1 Modulation Depth)	DDL 1	モジュレーションのデプスを調節します。
	d 2MD (DDL 2 Modulation Depth)	DDL 2	
	d 1LUL (Direct Level)		ダイレクト・レベルを調節します。
[EXP 1.Min] [EXP 2.Min]	EXP 1 (Min) EXP 2 (Min)	可変範囲はパラメーターによって異なります。	エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの最小値を設定します。
[EXP 1.Max] [EXP 2.Max]	EXP 1 (Max) EXP 2 (Max)	可変範囲はパラメーターによって異なります。	エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの最大値を設定します。
[EXP 1 PREFERENCE] [EXP 2 PREFERENCE]	MEMorY (Memory) SYSTEM (System)	EXP ペダルをメモリーごとに異なった設定にするのか (MEMorY)、すべてのメモリーで同じ設定を共有するか (SYSTEM) を設定します。	

*1 該当する [CTL 1.Mode] (CTL1.Mode) ~ [CTL 5.Mode] (CTL5.Mode) パラメーターを MoMEnt (Moment) に設定する必要があります。

*2 ホールド中にディレイをオン/オフしたり、モジュレーションをかけたりすると、出力音量が上がるのでご注意ください。

アサインの設定 (ASSIGN)

[CTL 1] スイッチや、接続したフットスイッチなどにお好みの機能を割り当てることができます。

アサインの設定は、メモリーごとに8つまで設定することができます。

注意

EVHメモリーのパラメーターは非公開になっているため、EVHメモリーを選んでいるときは、SETUPの項目にアサインはありません。

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで [ASSIGN] を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [TIME] ボタンで設定したいアサインのスイッチ [A15H] (Assign 1 Switch) ~ [A85H] (Assign 8 Switch) を選び、[DEPTH] ボタンで [on] にします。

メモ

初期設定ですべてのアサインがオフになっており、設定パラメーターが表示されません。アサインを設定するときは、先にアサインのスイッチをオンにしてください。

4. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

アサイン・パラメーター

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明	
A15H (Assign 1 Switch) : A85H (Assign 8 Switch)	OFF (off) : ON (on)	Assign1 ~ 8 をオン/オフします。 オンにすると、以下のパラメーター が設定できます。	
A15rC (Assign 1 Source) : A85rC (Assign 8 Source)	CTL 1 ~ CTL 5 (CTL 1 ~ CTL 5)	CTL 1 ~ CTL 5 スイッチ	
	EXP 1 (EXP1) EXP 2 (EXP2)	EXP1、EXP2 ペダル	
	GAFC 1 ~ GAFC 4 (GA-FC [CH1] ~ [CH4]) GAFC (GA-FC [Panel]) GAFC (GA-FC [Effects])	GA-FC [CH1] ~ [CH4] スイッチ、 GA-FC [Pedal] スイッチ、GA-FC [Effect] スイッチ	
	GAFC 1 (GA-FC EXP1) GAFC 2 (GA-FC EXP2)	GA-FC EXP1、 EXP2 ペダル (*1)	
	GAFC 1 (GA-FC S1) GAFC 2 (GA-FC S2)	GA-FC S1、S2 (*1)	
	CC 01 ~ CC 31 (CC01 ~ CC31) CC 64 ~ CC 95 (CC64 ~ CC95)	CC01 ~ 31、 CC64 ~ 95	
	A1Mod (Assign 1 Mode) : A8Mod (Assign 8 Mode)	Toggle : Moment	操作をするたびにオフ (最小値) / オン (最大値) が切り替わります。 通常はオフ (最小値) になり、操 作している間だけオン (最大値) になります。

ASSIGN で使用
する操作子を選
びます。

*1 GA-FC のペダル端子

GA-FC



- | | | |
|----------------------------|----------------------------|-------------------|
| GAFC EXP 1
(GA-FC EXP1) | GAFC EXP 2
(GA-FC EXP2) | EXP ペダルの機能を設定します。 |
| GAFC S1
(GA-FC S1) | GAFC S2
(GA-FC S2) | フットスイッチの機能を設定します。 |

外部コントローラーを設定する

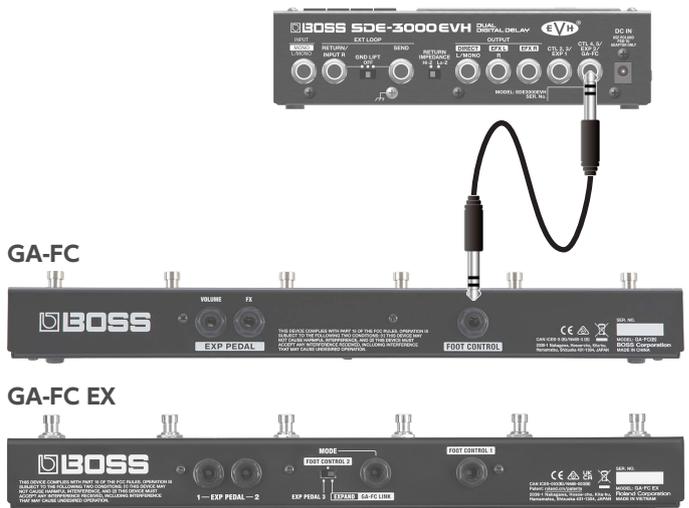
パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
		操作子に割り当てる機能を選びます。 選んだ機能の最小値/最大値を Min / Max で設定します。各アサインのモードに従って、「 <i>n in</i> 」パラメーター ↔ 「 <i>n!!!</i> 」パラメーターの値に切り替わります。
<i>d 1SH</i> (DDL 1 Switch)	DDL 1	ディレイをオン/オフします。
<i>d 2SH</i> (DDL 2 Switch)	DDL 2	
<i>d 1L L</i> (DDL 1 Time Lch)	DDL 1 の L チャンネル	
<i>d 1L R</i> (DDL 1 Time Rch)	DDL 1 の R チャンネル	ディレイ・タイムを調節します。
<i>d 2L L</i> (DDL 2 Time Lch)	DDL 2 の L チャンネル	
<i>d 2L R</i> (DDL 2 Time Rch)	DDL 2 の R チャンネル	
<i>d 1FB</i> (DDL 1 Feedback)	DDL 1	フィードバック量を調節します。
<i>d 2FB</i> (DDL 2 Feedback)	DDL 2	
<i>d 1out</i> (DDL 1 Output)	DDL 1	ディレイ音の出力音量を調節します。
<i>d 2out</i> (DDL 2 Output)	DDL 2	
<i>d 1Rate</i> (DDL 1 Rate)	DDL 1	ディレイのレートを調節します。
<i>d 2Rate</i> (DDL 2 Rate)	DDL 2	
<i>d 1dEPt</i> (DDL 1 Depth)	DDL 1	ディレイのデプスを調節します。
<i>d 2dEPt</i> (DDL 2 Depth)	DDL 2	
<i>d 1Mod</i> (DDL 1 Modulation)	DDL 1	モジュレーションをオン/オフします。
<i>d 2Mod</i> (DDL 2 Modulation)	DDL 2	※ トップ・パネルの [MOD] ボタンと同じはたらきをします。
<i>d 1FBPH</i> (DDL 1 Feedback Phase)	DDL 1	FEEDBACK PHASE をオン/オフします。
<i>d 2FBPH</i> (DDL 2 Feedback Phase)	DDL 2	※ トップ・パネルの [FEEDBACK PHASE] ボタンと同じはたらきをします。
<i>d 1LEU</i> (Direct Level)		ダイレクト・レベルを調節します。
<i>SndRtSw</i> (Send Return Switch)		SEND/リターン・スイッチをオン/オフします。
<i>FootVolSw</i> (Foot Volume Switch)		フット・ボリュームをオン/オフします。
<i>PdLPoS</i> (Pedal Position)		ペダル・ポジション
<i>R 1n in</i> (Assign 1 Min) ⋮ <i>R 8n in</i> (Assign 8 Min)	可変範囲はパラメーターによって異なります。	パラメーターの可変範囲の下限値を設定します。
<i>R 1n!!!</i> (Assign 1 Max) ⋮ <i>R 8n!!!</i> (Assign 8 Max)	可変範囲はパラメーターによって異なります。	パラメーターの可変範囲の上限値を設定します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>R 1ACL</i> (Assign 1 ACT Low) ⋮ <i>R 8ACL</i> (Assign 8 ACT Low)	0 ~ 126	ソースの操作範囲の中でターゲット・パラメーターをコントロールする範囲を設定できます。
<i>R 1ACH</i> (Assign 1 ACT High) ⋮ <i>R 8ACH</i> (Assign 8 ACT High)	1 ~ 127	ACT LOW、ACT HIGH で設定した範囲内で、ターゲット・パラメーターをコントロールします。通常は ACT LOW を 0 に、ACT HIGH を 127 にしてください。

GA-FC の接続

注意

- GA-FC をお使いになるときは、GA-FC を接続する前に GAFC SW をオンにしてください。先に接続すると、正しく動作しないことがあります。
- GA-FC は、システム設定のみに対応しています。メモリーごとに対応することはできません。



GA-FC 端子にステレオ・ケーブルで接続します。

GA-FC を使うときは GAFC SW をオンにしてください。

※ 本機はフット・コントローラーに対応しています。接続するときは、必ずステレオ・ケーブルを使用してください。

※ 抵抗の入っていないケーブルを使用してください。

対応フット・コントローラー

別売：GA-FC、GA-FC EX

メモ

GA-FC および GA-FC EX の詳しい使いかたについては、各製品の取扱説明書をご覧ください。

また、GA-FC EX の 2 台目を拡張するリンク機能には対応していません。

GAFC SW をオンにする

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで「GA-FC」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。



3. [DEPTH] ボタンで「GAFC.SW」(GA-FC Switch) を「on」にします。



注意

外部ペダル CTL4, 5/EXP2 を使う場合には GA-FC を「OFF」にしてください。

4. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

GA-FC の設定 (GA-FC)

GA-FC をお使いになるときは、GA-FC を接続する前に GAFC SW をオンにしてください。先に接続すると、正しく動作しないことがあります。

→ 「GAFC SW をオンにする」(P.33)

1. [SETUP] ボタンを押します。
ディスプレイに設定項目が表示されます。
2. [TIME] ボタンで「GA-FC」を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。

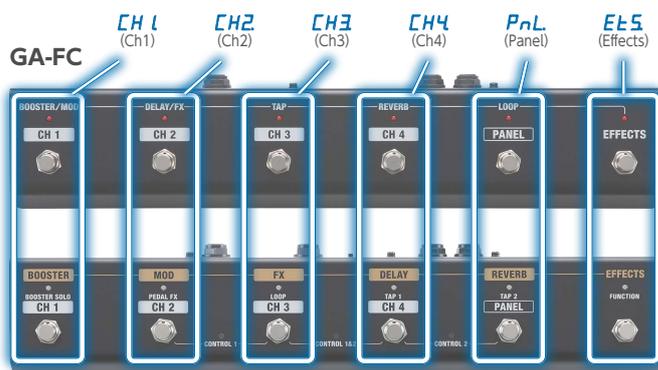


3. [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。

GA-FC パラメーター

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
GAFC.SW (GA-FC Switch)	OFF (off)	CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子で GAFC を使用しません。
	ON (on)	CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子で GAFC を使用します。

GA-FC のスイッチ



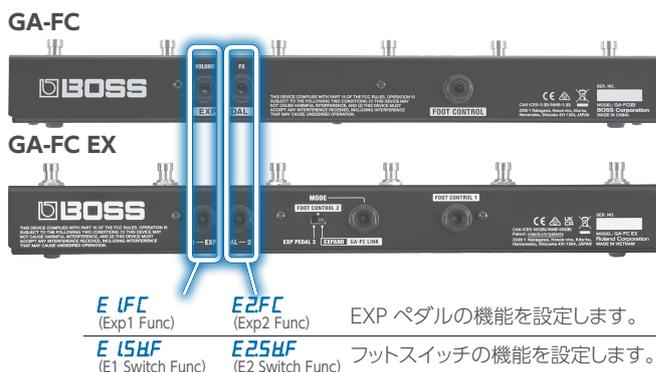
GA-FC EX

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明	
	OFF (off)	GA-FC は使用しません。	
	bPnLAP (BPM Tap)	BPM	
	d12tAP (DDL 1/DDL 2 Tap)	DDL 1 と DDL 2 (同時)	
	d1LtAP (DDL 1 Lch Tap)	DDL 1 の L チャンネル	ディレイ・タイムをタップ入力します。
	d1rAP (DDL 1 Rch Tap)	DDL 1 の R チャンネル	
	d2LtAP (DDL 2 Lch Tap)	DDL 2 の L チャンネル	
	d2rAP (DDL 2 Rch Tap)	DDL 2 の R チャンネル	
	d125H (DDL 1/DDL 2 Switch)	DDL 1 と DDL 2 (同時)	エフェクトをオン/オフします。
	d15H (DDL 1 Switch)	DDL 1	
	d25H (DDL 2 Switch)	DDL 2	
	d12HLd (DDL 1/DDL 2 Hold)	DDL 1 と DDL 2 (同時)	押し続けている間だけ、ディレイ音が繰り返されます(*1)。
	d1HoLd (DDL 1 Hold)	DDL 1	
	d2HoLd (DDL 2 Hold)	DDL 2	
	d12MoM (DDL 1/DDL 2 MOMENT)	DDL 1 と DDL 2 (同時)	押し続けている間だけ、ディレイ音を出力します(*1)。
	d1MoM (DDL 1 MOMENT)	DDL 1	
	d2MoM (DDL 2 MOMENT)	DDL 2	
	bYPASS (Bypass)	バイパスをオン/オフします。オンのときは、入力された音をそのまま出力します。 → 「Bypass の経路図 (外部コントローラーによるバイパス時の経路)」(P.35)	
	MEUp (Memory up)	次のメモリーに切り替えます。	
	MEdn (Memory down)	1 つ前のメモリーに切り替えます。	
	Send/Ret (Send/Return)	SEND/リターンをオン/オフします。	
	MENoM (Memory Number)	CH1NoM ~ CH4NoM, PnLNoM, Et5NoM で設定したメモリーを選びます。	

外部コントローラーを設定する

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
CH1d IHLd (CH1 DDL 1 Hold) : CH4d IHLd (CH4 DDL 1 Hold) PnLd IHLd (Panel DDL 1 Hold) Etsd IHLd (Effects DDL 1 Hold) : Etsd2HLd (Effects DDL 2 Hold)		CH1Fn ~ EtsFn が d IHLd、d IHoLd、d2HoLd のとき 0 ~ 120 Hold レベルを設定します。
CH1nu (CH1 Number) : CH4nu (CH1 Number) PnLnu (Panel Number) Etsnu (Effects Number)		GA-FC のスイッチごとに呼び出すメモリー・ナンバーを設定します。 EVH1 ~ C84 EVH1 ~ EVH8、A1 ~ A4、B1 ~ B4、C1 ~ C84
CH1Md (CH1 Mode) : CH4Md (CH4 Mode) PnLNd (Panel Mode) EtsNd (Effects Mode)	toGGLE (Toggle) MoMEnt (Moment)	操作するたびにオン/オフが切り替わります。 スイッチを踏んでいる間のみオンになります。踏んでいないときはオフになります。

GA-FC のペダル端子

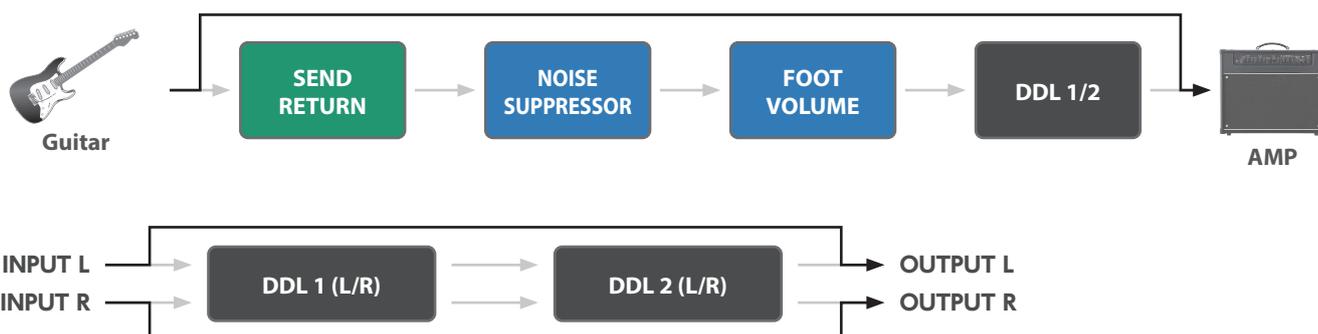


パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
	oFF (off)	GA-FC に接続した EXP 1、EXP 2 ペダルは使用しません。
	FU (Foot Volume)	フット・ボリュームの音量 (Pedal Position) を調節します。
	d Lt iNL (DDL 1 Time Lch)	DDL 1 の L チャンネル
	d Lt iNr (DD 1 Time Rch)	DDL 1 の R チャンネル
	d2Lt iNL (DDL 2 Time Lch)	DDL 2 の L チャンネル
	d2Lt iNr (DD2 Time Rch)	DDL 2 の R チャンネル
E1Fn (Exp1 Func)	d1FbF (DDL 1 Feedback)	DDL 1 フィードバック量を調節します。
E2Fn (Exp2 Func)	d2FbF (DDL 2 Feedback)	DDL 2 フィードバック量を調節します。
	d1out (DDL 1 Out)	DDL 1 音量を調節します。
	d2out (DDL 2 Out)	DDL 2 音量を調節します。
	d1rAt (DDL 1 Modulation Rate)	DDL 1 モジュレーションのレートを調節します。
	d2rAt (DDL 2 Modulation Rate)	DDL 2 モジュレーションのレートを調節します。
	d1dPt (DDL 1 Modulation Depth)	DDL 1 モジュレーションのデプスを調節します。
	d2dPt (DDL 2 Modulation Depth)	DDL 2 モジュレーションのデプスを調節します。
	d1rLUL (Direct Level)	ダイレクト・レベルを調節します。
E1Min (Exp1 Min)		可変範囲はパラメーターによって異なります。GA-FC に接続したエクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの最小値を設定します。
E2Min (Exp2 Min)		
E1Max (Exp1 Max)		可変範囲はパラメーターによって異なります。GA-FC に接続したエクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの最大値を設定します。
E2Max (Exp2 Max)		

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
	OFF (off)	GA-FC は使用しません。
	BPM Tap (BPM Tap)	BPM
	d 12Tap (DDL 1/DDL 2 Tap)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d 1Lch Tap (DDL 1 Lch Tap)	DDL 1 の L チャンネル
	d 1Rch Tap (DDL 1 Rch Tap)	DDL 1 の R チャンネル
	d 2Lch Tap (DDL 2 Lch Tap)	DDL 2 の L チャンネル
	d 2Rch Tap (DDL 2 Rch Tap)	DDL 2 の R チャンネル
	d 125H (DDL 1/DDL 2 Switch)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d 15H (DDL 1 Switch)	DDL 1
	d 25H (DDL 2 Switch)	DDL 2
E 15HF (E1 Switch Func)	d 12HLd (DDL 1/DDL 2 Hold)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
E 25HF (E2 Switch Func)	d 1HoLd (DDL 1 Hold)	DDL 1
	d 2HoLd (DDL 2 Hold)	DDL 2
	d 12MoM (DDL 1/DDL 2 MOMENT)	DDL 1 と DDL 2 (同時)
	d 1MoM (DDL 1 MOMENT)	DDL 1
	d 2MoM (DDL 2 MOMENT)	DDL 2
	bYPASS (Bypass)	バイパスをオン/オフします。オンのときは、入力された音をそのまま出力します。
	MEMuP (Memory up)	次のメモリーに切り替えます。
	MEMdn (Memory down)	1 つ前のメモリーに切り替えます。
	Send/Ret (Send/Return)	SEND/リターンをオン/オフします。
	MEMnuM (Memory Number)	メモリー番号を設定します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
E 15Hd 1HL (E1 Switch DDL 1 Hold Level)	E 15HF 、 E 25HF が d 12HLd 、 d 1HoLd 、 d 2HoLd のときは Hold Level を設定することができます。	
E 15Hd 2HL (E1 Switch DDL 2 Hold Level)		
E 25Hd 1HL (E2 Switch DDL 1 Hold Level)	0 ~ 120	Hold レベルを設定します。
E 25Hd 2HL (E2 Switch DDL 2 Hold Level)		
E 15Hn (E1 Switch Mode)	E 25Hn (E2 Switch Mode)	E 15HF 、 E 25HF が OFF 、 Tap のときは、このパラメーターは表示されません。
	toGGLE (Toggle)	操作するたびにオン/オフが切り替わります。
	MoMent (Moment)	スイッチを踏んでいる間のみオンになります。踏んでいないときはオフになります。
E 15HnuM (E1 Switch Number)	E 25HnuM (E2 Switch Number)	E 15HF 、 E 25HF が MEMnuM のときは、E1、E2 スイッチで呼び出すメモリー・ナンバーを設定します。
	EVH 1 ~ C84	EVH1 ~ EVH8、A1 ~ A4、B1 ~ B4、C1 ~ C84

Bypass の経路図 (外部コントローラーによるバイパス時の経路)



外部 MIDI 機器を接続する

外部機器と接続する

外部機器と MIDI 接続すると、MIDI メッセージのやりとりやクロックの同期ができるようになります。

MIDI (OUT/IN) 端子

TRS/TRS コネクティング・ケーブルまたは TRS/MIDI コネクティング・ケーブルで外部 MIDI 機器に接続します。

別売：**TRS/MIDI コネクティング・ケーブル**

BMIDI-5-35、BMIDI-1-35 または BMIDI-2-35



本機では、MIDI を使って次の操作をすることができます。

本機からの操作

操作	説明
プログラム・チェンジ情報の出力	本機でメモリーを選ぶと同時に、MIDI PC MAP (P.38) で設定したプログラム・チェンジ情報が送信されます。外部 MIDI 機器は受信したプログラム・チェンジ情報に対応したセッティングに切り替わりま
コントロール・チェンジ情報の出力	[CTL1] スイッチや、CTL 2, 3/EXP 1 端子、CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子に接続したフットスイッチやエクスプレッション・ペダルの操作情報をコントロール・チェンジ情報として出力します。外部 MIDI 機器のパラメーター操作などに利用できます。

外部 MIDI 機器からの操作

操作	説明
メモリー・ナンバーの切り替え	外部 MIDI 機器からのプログラム・チェンジ情報に対応して、本機のメモリーが同時に切り替わります。本機は Bank Select を受信しても無視します。
コントロール・チェンジ情報の受信	コントロール・チェンジ情報を受信して、指定したパラメーターを演奏中にコントロールすることができます。

MIDI の設定 (MIDI)

- [SETUP] ボタンを押します。**
ディスプレイに設定項目が表示されます。
- [TIME] ボタンで [MIDI] を選び、[SETUP] (ENTER) ボタンを押します。**



- [TIME] ボタンでパラメーターを選び、[DEPTH] ボタンで設定値を変更します。**

MIDI パラメーター

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>r</i> CH (Rx Channel)	<i>o</i> FF (off) <i>CH 1</i> ~ <i>CH 16</i> (CH.1 ~ CH.16)	MIDI 受信チャンネルを設定します。「 <i>o</i> FF」に設定すると、チャンネル・メッセージを受信しません。
<i>t</i> CH (Tx Channel)	<i>o</i> FF (off) <i>CH 1</i> ~ <i>CH 16</i> (CH.1 ~ CH.16) <i>r</i> (Rx)	MIDI 送信チャンネルを設定します。「 <i>o</i> FF」に設定すると、チャンネル・メッセージを送信しません。「 <i>r</i> 」に設定すると受信チャンネルと同じチャンネルになります。
<i>P</i> C.in (PC IN)	<i>o</i> FF (off) <i>o</i> n (on)	プログラム・チェンジを受信するか (<i>o</i> n) しないか (<i>o</i> FF) を設定します。
<i>P</i> C.out (PC OUT)	<i>o</i> FF (off) <i>o</i> n (on)	プログラム・チェンジを送信するか (<i>o</i> n) しないか (<i>o</i> FF) を設定します。
<i>C</i> C.in (CC IN)	<i>o</i> FF (off) <i>o</i> n (on)	コントロール・チェンジを受信するか (<i>o</i> n) しないか (<i>o</i> FF) を設定します。CC を受信すると、つまみやフットスイッチと同じ操作を MIDI でコントロールできるようになります。
<i>C</i> C.out (CC OUT)	<i>o</i> FF (off) <i>o</i> n (on)	コントロール・チェンジを送信するか (<i>o</i> n) しないか (<i>o</i> FF) を設定します。
<i>d</i> 1 <i>t</i> <i>i</i> NE <i>L</i> (DDL 1 Time L) <i>d</i> 1 <i>t</i> <i>i</i> NE <i>r</i> (DDL 1 Time R) <i>d</i> 2 <i>t</i> <i>i</i> NE <i>L</i> (DDL 2 Time L) <i>d</i> 2 <i>t</i> <i>i</i> NE <i>r</i> (DDL 2 Time R)		
<i>d</i> 1 <i>f</i> b <i>b</i> (DDL 1 Feedback) <i>d</i> 2 <i>f</i> b <i>b</i> (DDL 2 Feedback)	<i>o</i> FF (off) <i>cc</i> 01 ~ <i>cc</i> 31, (CC01 ~ CC31) <i>cc</i> b4 ~ <i>cc</i> 95 (CC64 ~ CC95)	各操作子に対応するコントローラー・ナンバーを設定します。
<i>d</i> 1 <i>o</i> u <i>t</i> (DDL 1 Out) <i>d</i> 2 <i>o</i> u <i>t</i> (DDL 2 Out)		
<i>d</i> 1 <i>n</i> d <i>r</i> A <i>t</i> (DDL 1 Modulation Rate) <i>d</i> 2 <i>n</i> d <i>r</i> A <i>t</i> (DDL 2 Modulation Rate)		
<i>d</i> 1 <i>n</i> d <i>d</i> P <i>t</i> (DDL 1 Modulation Depth) <i>d</i> 2 <i>n</i> d <i>d</i> P <i>t</i> (DDL 2 Modulation Depth)		

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>d 1Ft on</i> (DDL 1 Filter on) <i>d 2Ft on</i> (DDL 2 Filter on)		
<i>d 1t on</i> (DDL 1 Time on) <i>d 2t on</i> (DDL 2 Time on)		
<i>d 1PH on</i> (DDL 1 Phase on) <i>d 2PH on</i> (DDL 2 Phase on)		
<i>d 1M on</i> (DDL 1 Mod on) <i>d 2M on</i> (DDL 2 Mod on)		
<i>d 1FP on</i> (DDL 1 Feedback Phase on) <i>d 2FP on</i> (DDL 2 Feedback Phase on)		
<i>d 12tAP</i> (DDL 1/DDL 2 Tap) <i>d 1L tAP</i> (DDL 1 Lch Tap) <i>d 1r tAP</i> (DDL 1 Rch Tap) <i>d 2L tAP</i> (DDL 2 Lch Tap) <i>d 2r tAP</i> (DDL 2 Rch Tap)		
<i>d 1HoLd</i> (DDL 1 Hold) <i>d 2HoLd</i> (DDL 2 Hold)	off (off) cc01 ~ cc31 (CC01 ~ CC31) cc64 ~ cc95 (CC64 ~ CC95)	各操作子に対応するコントローラー・ナンバーを設定します。
<i>d 1MoM</i> (DDL 1 Moment) <i>d 2MoM</i> (DDL 2 Moment)		
<i>SendRetSw</i> (Send Return Switch)		
<i>FootV.PoS</i> (Foot Volume Pedal Position)		
<i>DirLev</i> (Direct Level)		
<i>CtL 1</i> (Control 1) <i>CtL 2</i> (Control 2) <i>CtL 3</i> (Control 3) <i>CtL 4</i> (Control 4) <i>CtL 5</i> (Control 5)		
<i>Exp 1</i> (Exp 1) <i>Exp 2</i> (Exp 2)		
<i>bypass</i> (Bypass)		
<i>d 1Sw</i> (DDL 1 Switch) <i>d 2Sw</i> (DDL 2 Switch)		

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
<i>Sync</i> (Sync)		どの入力のテンポ・クロックに同期させるかを設定します。 動作保証範囲：40 ~ 250 BPM
	int (Internal)	内蔵テンポに同期します。
	usb (USB)	USB 端子から入力される MIDI クロックに同期します。
	mid (MIDI)	MIDI IN 端子から入力される MIDI クロックに同期します。
	Auto (Auto)	通常は内蔵テンポで動作しますが、USB 端子や MIDI IN 端子から MIDI クロックが入力された場合、MIDI クロックにテンポ同期します。 ※ USB と MIDI の両方から入力された場合は、USB が優先されます。
<i>RealTimeSrc</i> (Real Time Message Source)		MIDI OUT 端子や USB 端子に出力するリアルタイム・メッセージのソースを設定します。
	int (Internal)	内蔵リアルタイム・メッセージをソースにします。
	usb (USB)	USB 端子からのリアルタイム・メッセージをソースにします。
	mid (MIDI)	MIDI IN 端子からのリアルタイム・メッセージをソースにします。
<i>MIDI Thru</i> (MIDI Thru)		MIDI IN 端子から入力した MIDI メッセージを、どの端子に出力するかを設定します。
	off (off)	送信しません。
	usb (USB)	USB 端子から送信します。
	mid (MIDI)	MIDI OUT 端子から送信します。
	usb, mid (USB, MIDI)	USB 端子と MIDI OUT 端子から送信します。
<i>USB Thru</i> (USB Thru)		USB 端子から入力した MIDI メッセージを、どの端子に出力するかを設定します。
	off (off)	送信しません。
	usb (USB)	USB 端子から送信します。
	mid (MIDI)	MIDI OUT 端子から送信します。
	usb, mid (USB, MIDI)	USB 端子と MIDI OUT 端子から送信します。
<i>Device ID</i> (Device ID)	17 ~ 32	システム・エクスクルーシブ・メッセージを送受信するとき使用するデバイス ID を設定します。

プログラム・チェンジとメモリーの対応を設定する

外部 MIDI 機器から送信されるプログラム・チェンジ情報でメモリーに切り替えるときに、SDE-3000EVH が受信したプログラム・チェンジ情報と切り替わるメモリーの対応を「プログラム・チェンジ・マップ」で自由に設定することができます。

1. [SETUP] ボタンを押します。

ディスプレイに設定項目が表示されます。

2. [TIME] ボタンで [P id , PC MAP] を選びます。



3. [SETUP] ボタンを押します。



4. [TIME] ボタンでプログラム・ナンバーを選び、 [DEPTH] ボタンでメモリー番号を設定します。

パラメーター [TIME] ボタン	設定値 [DEPTH] ボタン	説明
PC001 ~ PC128	EUV1 ~ CB4	プログラム・ナンバーに対応するメモリー番号を設定します。

パソコンに接続する

USB 端子を利用する (USB Type-C®)

USB ドライバーのインストール

パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。

USB 接続をする前に、専用ドライバーをインストールしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

パソコンに接続する

1. USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。



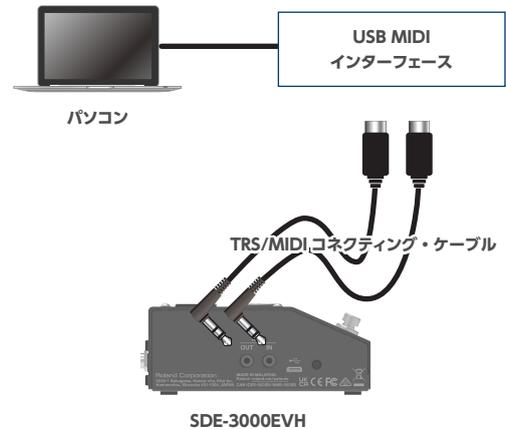
注意

USB ケーブルが抜けるとエラー・メッセージが表示されます。



サイド・パネルの MIDI 端子を利用する

TRS/TRS コネクティング・ケーブルまたは、TRS/MIDI コネクティング・ケーブルで外部 MIDI 機器に接続します。



別売:

TRS/TRS コネクティング・ケーブル
BCC-1-3535、BCC-2-3535

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル
BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35

注意

MIDI IN の接続が切れるとエラー・メッセージが表示されます。



本機の MIDI IN に接続している MIDI ケーブルに異常はないか、また MIDI ケーブルが抜けていないか確認してください。

工場出荷時の状態に戻す（ファクトリー・リセット）

SDE-3000EVH を工場出荷時の設定に戻します。

1. [SETUP] ボタンを押します。



ディスプレイに設定項目が表示されます。



2. [TIME] ボタンで「FctRSEt」を選びます。



3. [SETUP] ボタンを押します。



4. [TIME] ボタンと [DEPTH] ボタンで、ファクトリー・リセットの対象（範囲）を選びます。

中止するときは、[▶] (EXIT) ボタンを押して、メニューに戻ります。

対象	説明
545	システム設定
EUH1 ~ EUH8	EVHの1~8
RO1 ~ RO4	バンクAの1~4
BO1 ~ BO4	バンクBの1~4
CO1 ~ C84	バンクCの1~84

メモ

すべてリセットする場合は「545 - C84」を選びます。

5. [BANK A/B] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



「SURE」表示が点滅します。

6. [BANK A/B] ボタンを押して、ファクトリー・リセットを実行します。

ファクトリー・リセットが完了すると、プレイ画面に戻ります。

主な仕様

サンプリング周波数	48kHz
AD変換	24ビット+AF方式 ※AF方式(Adaptive Focus method)はADコンバーターのSN比を飛躍的に向上させるローランド/ボス独自の方式です。
DA変換	32ビット
内部演算	32ビット浮動小数点
エフェクト・タイプ	SDE-3000 STEREO DELAY × 2 ノイズ・サプレッサー フット・ボリューム
メモリー	100
規定入力レベル	INPUT MONO 端子: -10dBu INPUT L/MONO 端子: -10dBu RETURN/INPUT R 端子: -10dBu
最大入力レベル	INPUT MONO 端子: +12dBu INPUT L/MONO 端子: +12dBu RETURN/INPUT R 端子: +12dBu
入力インピーダンス	INPUT MONO 端子: 1MΩ INPUT L/MONO 端子: 1MΩ RETURN/INPUT R 端子: 1MΩ / 180kΩ切り替え
規定出力レベル	OUTPUT DIRECT 端子: -10dBu OUTPUT EFX L 端子: -10dBu OUTPUT EFX R 端子: -10dBu OUTPUT L/MONO 端子: -10dBu OUTPUT R 端子: -10dBu SEND: -10dBu
出力インピーダンス	OUTPUT DIRECT 端子: 1kΩ OUTPUT EFX L 端子: 1kΩ OUTPUT EFX R 端子: 1kΩ OUTPUT L/MONO 端子: 1kΩ OUTPUT R 端子: 1kΩ SEND: 1kΩ
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT DIRECT 端子: 10kΩ以上 OUTPUT EFX L 端子: 10kΩ以上 OUTPUT EFX R 端子: 10kΩ以上 OUTPUT L/MONO 端子: 10kΩ以上 OUTPUT R 端子: 10kΩ以上 SEND: 10kΩ以上
コントロール	[TIME] ボタン [FEEDBACK] ボタン [OUT] ボタン [RATE] ボタン [DEPTH] ボタン [1] ~ [4] ボタン [BANK A/B] ボタン [EVH] ボタン [◀] ボタン [▶] ボタン [FILTER] ボタン [TIME × 2] ボタン [DELAY PHASE] ボタン [MOD] ボタン [FEEDBACK PHASE] ボタン [DIGITAL DELAY1] ボタン [DIGITAL DELAY2] ボタン [SETUP] ボタン [DDL1] スイッチ [DDL2] スイッチ [TAP/CTL1] スイッチ GND LIFT スイッチ RETURN IMPEDANCE スイッチ

ディスプレイ	7セグメント 12桁 LED
接続端子	INPUT MONO 端子: 標準タイプ INPUT L/MONO 端子: 標準タイプ OUTPUT DIRECT 端子: 標準タイプ OUTPUT EFX L 端子: 標準タイプ OUTPUT EFX R 端子: 標準タイプ OUTPUT L/MONO 端子: 標準タイプ OUTPUT R 端子: 標準タイプ SEND 端子: 標準タイプ RETURN/INPUT R 端子: 標準タイプ CTL2, 3/EXP1 端子: TRS 標準タイプ CTL4, 5/EXP2/GA-FC 端子: TRS 標準タイプ MIDI (IN, OUT) 端子: ステレオ・ミニ・タイプ USB COMPUTER 端子: USB Type-C® DC IN 端子
電源	ACアダプター
消費電流	450mA
外形寸法	199 (幅) × 135 (奥行) × 54 (高さ) mm (ゴム足を含む)
質量 (ACアダプターを除く)	1.1kg
付属品	ACアダプター (PSB-1U +電源コード) グラウンド・リフト・ケーブル× 3 スタートアップ・ガイド 「安全上のご注意」 チラシ 「グラウンド・リフト・ケーブルのご注意」 チラシ ゴム足× 4 保証書
別売品	フットスイッチ: FS-5U、FS-5L デュアル・フットスイッチ: FS-6、FS-7 エクスペリション・ペダル: Roland EV-5、EV-30、FV-500L、FV-500H フット・コントローラー: GA-FC、GA-FC EX TRS/MIDI コネクティング・ケーブル: BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、 BCC-1-3535、BCC-2-3535

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

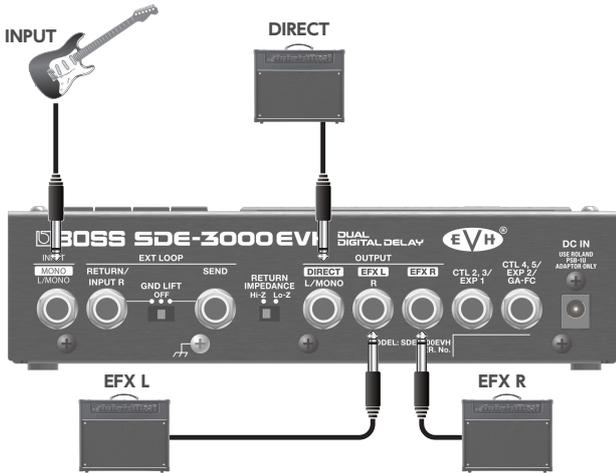
プリセット・リスト

EVH メモリーには、エディ・ヴァン・ヘイレンの 4 つの設定が保存されています（詳細なパラメーターは非公開）。また、4 つの設定には 3 アウト用とステレオ・アウト用に OUT LEVEL パラメーターを最適化した 2 種類のセッティングが用意されています。

アンプを 3 台接続する場合 (3 アウト用のセッティング)



EVH1 ~ EVH4 は 3 アウト用のメモリーです。



アンプを 2 台接続する場合 (ステレオ・アウト用のセッティング)



EVH5 ~ EVH8 はステレオ・アウト用のメモリーです。



アウトプットの設定	1	2	3	4
3 アウト	EVH1	EVH2	EVH3	EVH4
ステレオ・アウト	EVH5	EVH6	EVH7	EVH8

メモ

- EVH1 と EVH5、EVH2 と EVH6、EVH3 と EVH7、EVH4 と EVH8 は、OUT LEVEL 以外のパラメーターはそれぞれ同じ値に設定されています。
- EVH1 ~ 4 は 3 アウト用にディレイの OUT LEVEL パラメーターが調整されており、EVH5 ~ 8 はステレオ・アウト用に OUT LEVEL パラメーターが調整されています。
- EVH1 ~ 8 のいずれのメモリーもステレオ・アウト、3 アウトの両方で使うことができます。
- アンプを接続すると接続したアンプの台数（1 ~ 3 台）に応じてアウトプットの設定が自動で切り替わりますが、選択中の EVH メモリーは自動でアウトプットの設定に合ったメモリーには切り替わりません。接続しているアンプの状態に合わせてメモリーを選んでください。
- EVH プリセット 1 ~ 4 は、完全な Wet/Dry/Wet リグで動作するように設計されています。
 プリセット 1 は、左右のチャンネルに相補的な遅延時間を持つ長い遅延です。
 プリセット 2 は、類似していますが遅延時間が中程度です。
 プリセット 3 は、類似していますが遅延時間が短くなっています。
 プリセット 4 は、Eddie が初期のレコーディングでよく使用したディレイ・タイムを特徴とするモノ・エコーです。
- [EVH] ボタンをもう一度押しと、EVH プリセット 5 ~ 8 にアクセスできます。
 これらは 1 ~ 4 に似ていますが、より一般的なステレオまたはモノ・リグで動作するように微調整されています。

プリセット・リスト

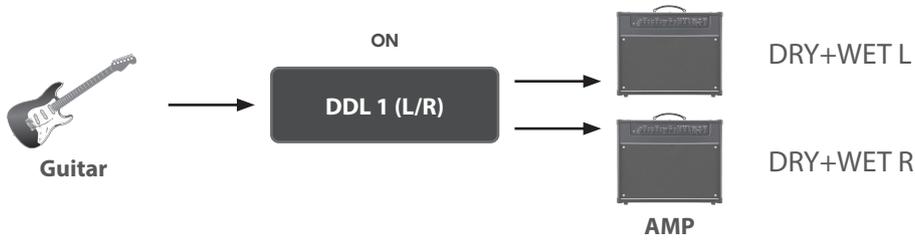
プリセット A01 ~ B04 は、SDE-3000EVH の機能を紹介するために作成されたものです。A01 ~ A04 は、DDL1 のみを使用する基本的なディレイです。

A.01

DDL 1 は 16 分音符にセッティングされています。

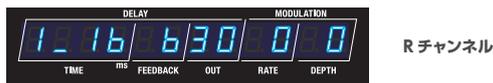
STRUCTURE : SERI

BPM : 120



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : OFF

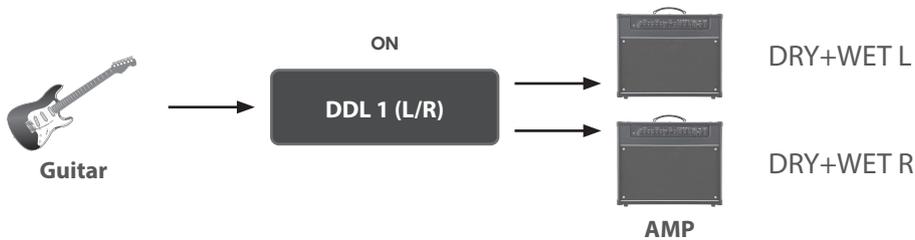


A.02

DDL 1 は 400msec にセッティングされています。

STRUCTURE : SERI

BPM : 160



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : ON

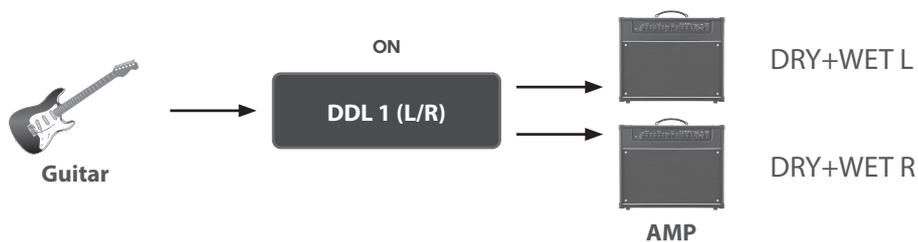


A.03

DDL 1 は 450msec にセッティングされています。

STRUCTURE : SERI

BPM : 120



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON

DDL 1 TYPE : STEREO

DDL 1 TIME LINK : ON



L チャンネル



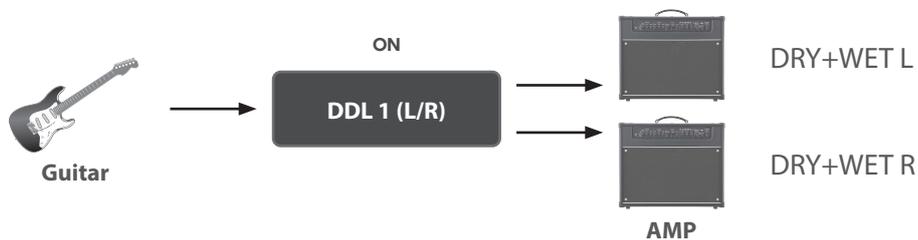
R チャンネル

A.04

DDL 1 は 380msec、DDL 2 は 500msec にセッティングされています。

STRUCTURE : SERI

BPM : 120



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON

DDL 1 TYPE : STEREO

DDL 1 TIME LINK : OST



L チャンネル

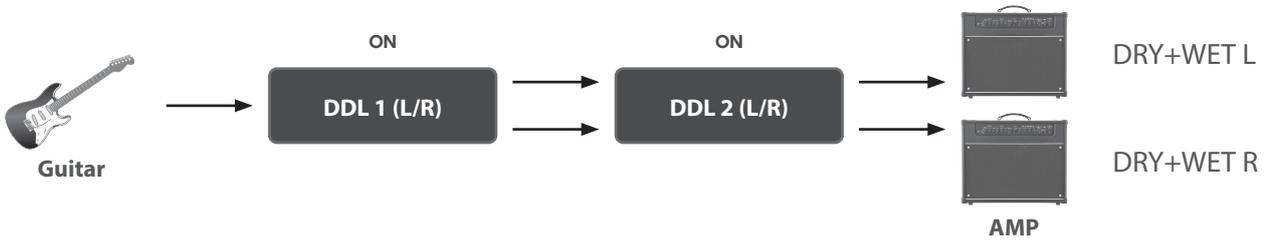


R チャンネル

B.01

DDL 1 は Lch が 15msec、Rch が 10msec で、DDL 2 は 370msec にセッティングされています。

STRUCTURE: SERI
BPM: 120



DDL 1 のパラメーター
DDL 1 SW: ON
DDL 1 TYPE: STEREO
DDL 1 TIME LINK: OFF



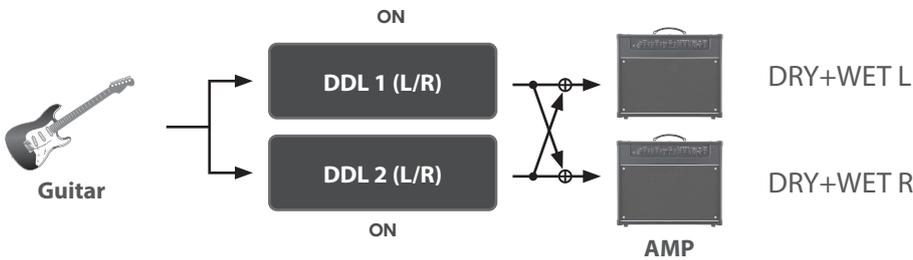
DDL 2 のパラメーター
DDL 2 SW: OFF
DDL 2 TYPE: STEREO
DDL 2 TIMELINK: ON



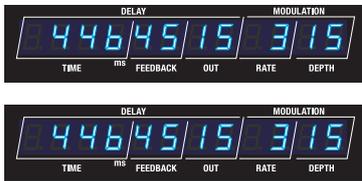
B.02

DDL 1 は 446msec、DDL 2 は 45msec で、左右でわずかにディレイ・タイムが異なる広がりのあるサウンドです。

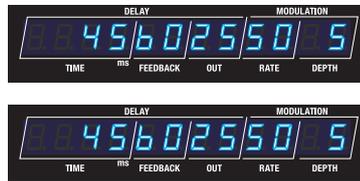
STRUCTURE: PARA1
BPM: 160



DDL 1 のパラメーター
DDL 1 SW: ON
DDL 1 TYPE: STEREO
DDL 1 TIME LINK: ON



DDL 2 のパラメーター
DDL 2 SW: OFF
DDL 2 TYPE: STEREO
DDL 2 TIMELINK: ON

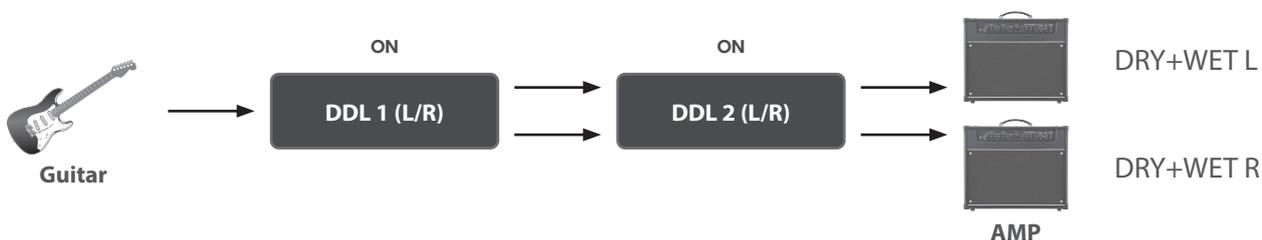


B.03

DDL 1 は Lch が 502msec / Rch が 498msec で、DDL 2 は Lch が 373msec / Rch が 375msec にセッティングされています。2つのディレイが直列に接続され広がりのあるディレイ・サウンドです。

STRUCTURE : SERI

BPM : 120



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : OFF



L チャンネル



R チャンネル

DDL 2 のパラメーター

DDL 2 SW : OFF
DDL 2 TYPE : STEREO
DDL 2 TIMELINK : OFF

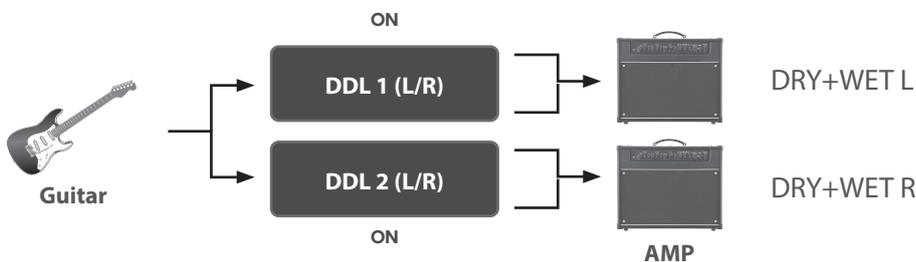


B.04

DDL 1 は 8 分音、DDL 2 は 507msec にセッティングしたものを直列に組み合わせたディレイです。

STRUCTURE : PARA2

BPM : 120



DDL 1 のパラメーター

DDL 1 SW : ON
DDL 1 TYPE : STEREO
DDL 1 TIME LINK : ON



L チャンネル



R チャンネル

DDL 2 のパラメーター

DDL 2 SW : OFF
DDL 2 TYPE : STEREO
DDL 2 TIMELINK : ON

